

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

## 1 研究委員氏名

## 2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称		東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	101・102	201・202	301・302	401・402	501	601
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の重点を「言葉の力」として明示しており、「何ができるようになるか」を明確にして学習が進められるよう工夫してある。また、巻末には取り扱った「言葉の力」がまとめてあり、前学年のものも掲載されている。</li> <li>ノート作りを重視し、全学年に「国語ノートの作り方」のページが設けられている。</li> </ul> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「おさえる」というコーナーで、学習の基盤となる知識や技能を提示している。</li> <li>語彙を豊かにし、実生活で使えるようにする学習が随所に設定されている。また、巻末付録の「言葉の広場」に、様々な種類の言葉が掲載されているので活用しやすい。</li> <li>巻末付録「学習で使う言葉」で、学習上大切な用語を一覧できるようになっている。</li> <li>1単元1領域で指導事項を重点化しており、重点指導事項に即した具体的な言語活動が設定されている。活動の目的や条件にそった課題解決的な学習を通して、必要な思考力、判断力、表現力等が身に付くようになっている。</li> <li>思考を言語化して考えを広げたり整理したりするツールとしてのノートやメモ、カードなどが随所に例示されている。</li> <li>「読む」単元では、同じ事柄を書いた2つの文章が載っており、それらを読み比べることで、違いや書き方の工夫に気付くことができるようにしている。</li> </ul> <p>③ 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探求的な活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境・食育・国際理解・道徳教育など、さまざまな分野に関連のある話題・題材があり、他教科等との合科的・関連的指導が図れるようになっている。</li> <li>単元末の「生かそう」で、他教科等の学習や実生活に生かすための視点を示している。</li> </ul> <p>④ 伝統的な言語文化に親しむための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生以上に、言語に関わる文化をはじめとしたわが国や郷土のさまざまな伝統・文化にふれ、親しむことができるような教材が配置され、日本語の美しさや豊かさに親しむことができるとともに、それらを活用して表現するための工夫がある。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年間で学習する言葉の力の一覧を巻頭に示し、児童が自分自身のためをもち、主体的に学習に取り組むことができるようにしている。</li> <li>単元末の「ふり返る」には、単元で学んだ大切なことや活用を促す「生かそう」を提示し、学習の価値付けとともに、今後への課題を見いだせるようにしている。</li> <li>年間を通して「こんな本もいっしょに」等の読書指導を入れ、さまざまな本と出会い、生涯にわたって読書に親しむ習慣や態度を育むことができるようにしている。</li> <li>「本は友達」では、児童がよく手にする本の作者が本を紹介することで、読書への関心を高めている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 教材の構成（配列）と分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決的に学習を展開できるよう、単元が「つかむ」「取り組む」「ふり返る」で構成されている。「つかむ」段階の内容が充実しており、既習事項や日常の言語生活をつなぎ、児童の主体的な学習が促されるような構成になっている。</li> <li>「読むこと」の領域においては、導入時の活動を効果的に行うことができるよう、題名・挿絵等に1ページを割り、児童の意欲を喚起する構成になっている。</li> </ul> <p>② 表紙やさし絵 写真の大きさ、字体の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙やさし絵はシンプルなデザイン、色使いを用いていてユニバーサルデザインへ配慮されている。写真が大きい。</li> <li>語のまとまりが分かりやすいように、文節ごとの分かち書きをしたり、単語や文節の途中で改行をさけたりするなどして、特別支援教育への配慮がなされている。</li> <li>教材文の登場人物については、性別による偏りがないようにしている。また、イラストなどでは、身体的特徴の過度な強調を避けるように配慮されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【国語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称			学図	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	103・104	203・204	303・304	403・404	503・504	603・604
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年に「言葉のきまり」「言葉の泉」が設けられ、全ての領域の学習活動に必要な言語の知識がまとめられている。</li> <li>・漢字の習得と定着のために、「漢字の広場」が位置づけられている。</li> </ul> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むことと書くことを相互に関連づけることで、実践的な読みの能力や効果的に書く能力を育て、深い学びの土台を築くことをねらいとしている。</li> <li>・「読む」単元では、単元の終わりに「学習のてびき」が設けられており、「話す・聞く」「書く」単元では、巻末資料に「国語のカギ」が設けられている。これらが、学習に必要な技能や、言葉による見方や考え方を働かせて言語活動を進めていくためのヒントがまとめられている。</li> <li>・「話す・聞く」単元だけでなく、「書く」「読む」単元でも、児童キャラクターの会話を示されており、対話的な学び合いを通して、学習を深めることができるようにしている。</li> <li>・「話す・聞く」単元では、児童にとって身近な題材をテーマにした題材があり、必要感をもって学習をすすめることができる。</li> </ul> <p>③ 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューや新聞作りなど、他教科の学習でも活用できる言語活動を取り入れている。</li> <li>・教科横断的な視点を意識するとともに、地域の人的・物的資源を活用しながら学習活動が行えるように配慮している。</li> <li>・学習過程の構造化を図り、見通しや目的意識をもって学習に取り組めるようにするとともに、振り返りの観点を示し、次の学びへつなげることができるようにしている。</li> </ul> <p>④ 伝統的な言語文化に親しむための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化に親しむための教材が1年生から配置されている。日本人が育んできた季節を感じる言葉や暮らしに関わる言葉が扱われていて、日本の文化や地域の文化に興味をもつことができるような内容になっている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭にその学年で育てたい資質・能力を一覧で示すことで、1年間の学習内容を確認できるようにし、付けたい力を意識しながら主体的に学習に取り組むことができるようにしている。</li> <li>・巻末資料に学年で学習する大切な事柄をまとめた「授業で使う言葉」「国語のカギ」を示しており、参考にしながら学習を進めたり、学習後にもう一度確認したりすることができるようにしている。</li> <li>・図書紹介のページ「読書の部屋」を設け、読書への意欲と興味を喚起し、読書習慣を身に付けることができるようにしている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 教材の構成（配列）と分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な技能を押さえるために、領域を連続させた単元配列にしてあるものもある。</li> <li>・全学年を分冊とし、1冊あたりの重量が軽い教科書にしてある。</li> </ul> <p>② 表紙やさし絵 写真の大きさ、字体の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み易いように、文字の大きさに配慮し、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトが工夫されている。</li> </ul>					

# 教科【国語】種目【国語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	1 7	発行者の略称	教出			
学年別の 教科書番号	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	105・106	205・206	305・306	405・406	505・506	605・606
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程が明確にされていて、知識・技能を効率よく学べるようにしている。</li> <li>・全学年に「言葉の木」「言葉のまとめ」が設けられ、語彙が質・量ともに充実するような工夫がされている。</li> <li>・漢字の習得と定着のために、「漢字の広場」が位置付けられている。</li> <li>・思考を整理したり、まとめたり、可視化したりするためのふせんやカード、ノートの使い方など、学習のツールを多く例示しており、また、丁寧に示されているので、日々の学習に活用しやすい。</li> </ul> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話す・聞く」「書く」単元では、特に重点としたい学習過程を明示し、その単元の学びにおいて付けたい力が分かるようにしており、より能動的・探究的な学びができるように工夫されている。</li> <li>・情報の扱い方に関する教材が配置されていたり、情報活用に関する事柄が学年の発達段階に応じてまとめられたりしている。</li> <li>・「読む」単元では、始めの1ページに意欲につなげる一文と写真や絵が載っている。中心教材の前に教材文が設けられている箇所もあり、読み方を丁寧に示している。</li> </ul> <p>③ 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習など、他教科への学習の広がりを意図した教材を配置している。</li> <li>・学校内、地域など、社会に広がる活動を設定している。</li> <li>・学習のてびきでは、身に付けたい言葉の力に対して適切な言語活動を紹介している。</li> </ul> <p>④ 伝統的な言語文化に親しむための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生から全学年に「文化」という項目があり、取り上げられている。昔の遊び等、日常生活の中で言語文化を意識したり、見直したりできるよう配慮がなされている。また、「俳句をつくろう」「随筆をかこう」のように、言語文化をただ受け取るだけでなく、その担い手となる自覚をもてるように実際に表現する教材が工夫されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「学ぶこと」、学年末に「国語の学習これまでこれから」を示し、1年間の学びの見通しと振り返りができるようにしている。</li> <li>・「まなびリンク」で、ウェブサイトと連動して学習に関連する情報が取り出せるようにし、児童の「もっと学びたい」という思いに応えられるようにしている。</li> <li>・各単元の学習から読書体験へとつながるように、関連図書の紹介と巻末の紹介図書を充実させている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 教材の構成（配列）と分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の特性を生かすために、単独の教材で単元にしたり、複数教材を組み合わせることで領域融合的な単元にしたりして、多様な単元構成にしてある。</li> <li>・全学年を分冊とし、1冊当たりの重量が軽い教科書にしてある。分冊にしたことで、全体のページが増え、単元ととびらやてびき、付録が充実している。</li> </ul> <p>② 表紙やさし絵 写真の大きさ、字体の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図や表、写真や絵が多く用いられていて学習内容が端的につかめるように教材の構成や紙面がデザインされている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

**教科【国語】種目【国語】**

1 研究委員氏名

2 報告

発行者の番号	38		発行者の略称	光村		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	107・108	207・208	307・308	407・408	507	607
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たしかめよう」や「学習の進め方」が設けられていて、学習への取り組み方が明確に分かるようになっている。</li> <li>・「季節の言葉」「言葉の宝箱」など、思考や表現の助けとなる言葉・語彙にふれる場が数多く設けられており、言葉の豊かさや感性を培うことができるようになっている。</li> </ul> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え判断し、表現する力を育む言語活動や情報活用能力を育成する活動内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の「学習」というページ冒頭には、単元目標（つきたい力）と、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の目標を設けている。上下2段組みに構造化されていて、学習の取り組み方が分かりやすく示されている。</li> <li>・「ふりかえろう」では、3観点の評価に対応して、「知る（知識・技能）」「読む（思考・判断・表現）」「つなぐ（主体的に学習に取り組む態度）」の項目を立てているので指導者が評価しやすい。「たいせつ」では、身に付けた力を確認し、汎用的に活用することができることをねらいとしていて分かりやすい。</li> <li>・2～6年の特設教材「情報」では、「情報の扱い方に関する事項」が分かりやすく教材化されていて、情報を的確に理解し、表現につなげたり自分の考えの形成に生かしたりしていくことができるようになっている。</li> <li>・巻末付録の「課題の見つけ方、調べ方」や「考えを図で表そう」では、自ら考え判断し表現する力につなげられるように、課題の見つけ方や調べ方をわかりやすく示していたり、考えるための様々なツールを例示したりしている。</li> </ul> <p>③ 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末の「いかそう」では、他教科や日常生活の場面で、国語科の「何が」「どのように」生かせるのかを提示している。</li> <li>・他教科との関連が図れたり、学校生活や日常の生活場面などに活用できたりする題材を設定し、子どもたちが必然性をもって教材に臨めるようになっている。</li> </ul> <p>④ 伝統的な言語文化に親しむための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長く語り継がれてきた話を読み聞かせて聞くことや、地域が育んできた昔話をよむことにより、地域の言語文化に親しんだり、日本文化の作品世界を豊かに想像する力を育んだりすることができるようになっている。</li> <li>・3年生から易しい文語調の俳句や短歌に親しむことにより、日本語の美しい響きを感じ取ることができるように工夫されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元での学習内容や既習事項を学習過程ごとに整理したものを、巻頭の「学習すること」に示すことで、学習の積み重ねを可視化できるようにして見通しをもって学習できるようにしている。</li> <li>・学校図書館や地域の図書館などの施設の活用を促したり、多様なジャンルの読み物を読書活動とあわせて紹介したりする「本は友だち」を各学年に設け、主体的な読書の習慣を身に付けることができるようにしている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 教材の構成（配列）と分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年冒頭の教材は、学級全体で対話をしながら、学ぶ楽しさを感じることができるような教材を配置している。</li> </ul> <p>② 表紙やさし絵 写真の大きさ、字体の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書のために特にデザインされた教科書体が用いられている。美しく読みやすいのと同時に、書き文字に近いので、低学年の子どもたちにとっては正しい字形が意識でき、高学年の子どもたちが正しい字形を意識しながら学習することができる。特に「文字の形を意識して読み、物事を理解する部分が大きい」低学年は、書体を通常よりも太くしたものが使用され、「見やすさ」が重視されている。</li> <li>・配色や色調に注意を払ったり、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるよう、罫線が入ったりしている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称			東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	101	201	301	401	501	601
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年以上は平仮名表が毛筆での表記になっており、毛筆での字形や点画の書き方が分かりやすくなっている。</li> <li>・「生かそう」では、毛筆の教材であっても必ず鉛筆で書く活動を取り入れ、硬筆による筆記の基礎を養えるようにしてある。</li> <li>・第1学年では、「ひらがなのかきかた」として「まがり」「おれ」「むすび」を別々のページに掲載し、それぞれを丁寧に学習できるようにしている。</li> </ul> <p>② 自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で「①見つけよう→②たしかめよう→③生かそう」という課題解決的な学習過程が分かる表記がされている。また最後に「ふり返って話そう」という項目で自らの学びを確認できるようになっている。</li> <li>・「書写のかぎ」ではその教材でのねらいをまとめてあるが、一部空白にして、巻末を見返しながら自ら考えて記入できるようにしている。</li> </ul> <p>③ 伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字そのものと、文字を書くこととの二つの側面から取り上げた単元を設けている。(えんぴつ・筆・和紙等の作り方、古典作品のなぞり書き、世界のいろいろな文字、日本の文字の歴史等)</li> </ul> <p>④ 日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本単元で身につけた知識・技能を生活に生かす単元として「せいかつにひろげよう」を設けている。国語や他教科の学習、生活の中で扱う書式や内容を題材に、年間3か所設定している。(日記、連絡帳、原稿用紙、手紙、カード、ポスター等)</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年の巻末には、該当学年までに学習した文字や字を整えて書くための「書写のかぎ」が記載されている。</li> <li>・学年の配当時数を考えた単元数や分量になっている。</li> </ul> <p>② 見やすさ、使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年の教科書には、水書用紙が付いている。</li> <li>・AB版で紙面がワイドで図版が大きい。</li> <li>・教科書に直接記入でき、取り組みやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

## 1 研究委員氏名



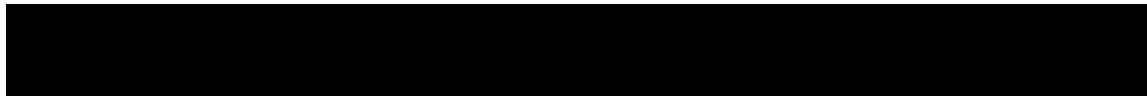
## 2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称			学図	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	102	202	302	402	502	602
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年以降は4ページにわたって毛筆用具の準備や筆の持ち方、姿勢などが大きな写真やイラストで掲載されている。</li> <li>第2学年以降は最初の教材が前学年で学習したことを確かめて書く内容になっており、学んだ内容に沿って書けるようになっている。</li> <li>第3学年では、一つの文字の中で複数の筆使いを指導できる教材になっている。</li> </ul> <p>② 自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年において、一つの教材の中で「①確かめて書こう→②考えて書こう→③生かして書こう」という学習の流れがはっきり分かるように工夫している。「③生かして書こう」では、教材で学んだことを生かして、別の文字で練習をするようになっている。</li> <li>「ふり返ろう」では、学習したことを生かして、自ら書く内容を考えて書くことで学習のまとめができるようになっている。</li> </ul> <p>③ 伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>古来より現代まで続く「文字文化」に触れられる教材を掲載している。(鉛筆や消しゴム、筆や硯などの製造工程や歴史を知ることができるコラム、片仮名の成り立ちや古典教材等)</li> </ul> <p>④ 日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>習得した書写の技能を、学習の場、生活の場で使えるように、書いて実感できる教材を多数掲載し、実用性の高いページを巻末にまとめている。(ノートや原稿用紙の使い方、手紙やはがきの書き方、ローマ字表等)</li> <li>6年生では、親しみや楽しみをもって理解をより深められるよう曲の歌詞を書く学習がある。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙の「保護者の方へ」では、單元ごとに何が身に付くのかが一覧で書かれている。</li> </ul> <p>② 見やすさ、使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二文字以上の毛筆手本は全てが半紙原寸大となっている。</li> <li>教材文字と書き込み欄が上下に配置され、きき手を問わず書くことができる。</li> <li>QRコードがついていて、インターネット上のコンテンツにつながるようになっている。</li> <li>キャラクターが多く登場する。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17		発行者の略称	教出		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	103	203	303	403	503	603
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年では平仮名の字形を整えるため、マスを4つに分けて番号をふっている。また拗音や促音を書く場所を番号や色で強調し、分かりやすくしている。</li> <li>第3学年以降では毛筆の筆圧を強い順に言葉や数字で表して分かりやすくしている。</li> <li>単元のめあてが分かりやすく明確に示されている。</li> </ul> <p>② 自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1, 2学年では「学習の進め方」を「めあてを知る→ためし書き→考える→練習する→まとめ書き→ふりかえり」という流れで表示している。第3学年以降になると、まとめ書きのあとに「ほかの文字でも確かめる」という活動を入れ、学んだことを活用する流れになっている。</li> <li>第3学年以降では、最後の教材である「学習のまとめ」で、今まで学習してきたことから自分でめあてを選んで書く活動が設定してある。手本のどの部分がどのめあてに対応しているかは分かりやすく表記されている。</li> </ul> <p>③ 伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文字の成り立ちを扱うことで、文字への興味、関心が高まるように配慮されている。</li> <li>年賀状や暑中見舞い等季節のはがきを書くことで日本の伝統文化に触れたり、季節に合ったあいさつの表現や敬語の使い方など伝統的な慣習について知ることができたりする。</li> </ul> <p>④ 日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全学年に、手紙やはがきの書き方を収録し、伝える力を育むことができるようになっている。(ありがとうカード、見学のお礼状、絵はがき、案内状等)</li> <li>学校生活や学習活動の「どの場面」で生かせるのかすぐに分かるように構成されている。(聞き取りメモ(生活)、調べたことを報告(社会)、本の紹介カード(国語)等)</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達段階や語彙や言語環境などが考慮され、言葉としても適量で、書写の学習要素が理解しやすい文字や語句が選ばれている。</li> </ul> <p>② 見やすさ、使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1, 2年の教科書には、水書用紙が付いている。</li> <li>QRコードが付き、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。</li> <li>紙面にカラーユニバーサルデザインが取り入れられている。</li> <li>未習漢字にふりがながふってあり、読みやすい。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	38		発行者の略称	光村		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	104	204	304	404	504	604
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の表現・特徴</p> <p>① 基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年の毛筆学習では、横画や縦画、折れ、はね、はらいなど一つ一つの筆使いをそれぞれ別の教材で取り上げ、十分な時間配当で指導するようになっている。</li> <li>全学年の巻末に、1年間学習してきた内容をまとめた「たいせつのまとめ」が収録されている。</li> </ul> <p>② 自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年以降で、児童が学習の見通しを持って主体的に学べるよう「①考えよう→②確かめよう→③生かそう」という3ステップの学習の進め方を巻頭に掲載してある。</li> <li>各教材で、手本が複数あり、それらを観察・比較して課題を見つけ、児童が主体的に字の整え方を考えられるよう工夫がされている。</li> <li>学習の成果や知識・技能の定着を確認できるよう、全教材の末尾に自己評価ができる「ふり返ろう」が設けられている。</li> </ul> <p>③ 伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の成り立ちを楽しいイラストで解説している。</li> <li>書き初めや漢字の成り立ちをコラムで掲示するなど、伝統的な言語文化への理解を深められるように配慮されている。5年生では、仮名を見直すきっかけになるよう「平仮名や片仮名の筆使い」を設けている。</li> </ul> <p>④ 日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必然性をもって学習できるよう、日常生活とのつながりを実感できるような学習活動を設定している。(連絡帳、招待状、原稿用紙、ノート、新聞、ポスター等)</li> <li>6学年では、6年間で学習した書写要素や書式を書写ブックにまとめ、日常生活に生かしやすくなっている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に国語との関連教材が2カ所設けられ、国語教科書と連動して学ぶことができるようになっている。</li> </ul> <p>② 見やすさ、使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教材が見開き1ページに収められ、何を学習するのか分かりやすくなっている。</li> <li>1, 2年の教科書には、水書用紙が付いている。</li> <li>QRコードが付き、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができるようになっている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【国語】種目【書写】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称			日文	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	105	205	305	405	505	605
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の定着を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材ごとに字形を整えるためのアドバイスを端的に表記してある。</li> <li>第3学年の毛筆学習では、穂先の向きや筆圧等を、イラストを効果的に使用して、筆使いの基礎基本を定着させるようにしてある。</li> </ul> <p>② 自ら考え、判断し、表現する力を育成するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年において、「①考える→②たしかめる→③いかす」の3ステップが統一されており、学びの手順を理解することで主体的に学習する力につながるよう工夫されている。</li> <li>児童自らが学習の成果を確かめられるよう、各教材に「めあて」と「できたかな」の項目が設定されている。</li> </ul> <p>③ 伝統的な言語文化を尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書き初めを全学年で取り上げている。</li> <li>5学年では、中学校で学習する「行書」の特徴を提示、6学年では平仮名、片仮名ができるまでを紹介している。</li> </ul> <p>④ 日常生活や学習活動に生かすための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国語科を中心とした言語活動例を取り扱ったコーナーを各学年に設定し、文字を正しく整えて書くことを様々な場面で活用できるようにしている。(絵日記、原稿用紙、新聞、ポスター、手紙等)</li> <li>学習の基盤となる言語能力を支える語彙を増やすために、「言葉の窓」を設けている。</li> <li>どの視点で国語科と書写がコラボレーションすればよいかという例示のコーナーを各学年一つずつ設定している。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 系統的な配列及び教材の分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達段階や学年の特性などが考慮され、学習内容が次第に難しくなるように段階的・系統的に配列されている。</li> </ul> <p>② 見やすさ、使いやすさの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1, 2年の教科書には、大きめの水書用紙が付いている。</li> <li>全体的に紙面がすっきりとしていて、何を学ぶのかが分かりやすくなっている。</li> <li>教科書に直接書き込む欄が設けられ、自ら考えて書く活動がしやすくなっている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【社会】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			301	401	501・502	601・602

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習上重要な言葉には説明文が付いている。</li> <li>・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程が分かりやすく示されている。</li> </ul> <p>② 思考力・判断力・表現力を育む活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学習が促進されるよう、「空間」「時間」「相互関係」などの見方や「方法」についての考え方が適宜示されている。</li> <li>・「まとめる」場面では、文章や発表、話し合いなど様々な表現方法が示されている。</li> </ul> <p>③ 実生活の場面への活用、探究的な活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活への活用のために、単元末に「いかす」場面が設けられている。</li> </ul> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・領土問題については、5・6年生で北方領土、竹島、尖閣諸島が記され、他国が日本の領土を不法に占領したり領有を主張したりしていることが記されている。</li> <li>・国旗国歌においては、長年親しまれた日の丸と君が代について記されており、それらが法律に定められていることも説明されている。</li> <li>・4年生の飲料水の供給については近隣の岡山市が、5年生の工業生産については倉敷市が示されている。</li> </ul> <p>⑤ 補足的な学習や発展的な学習が促される創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随所に「Dマーク」が記されており、インターネットにより発展的な学習に繋げることができる。</li> </ul> <p>(2) 構成配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階をふまえた内容の構成・配列、及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年において選択して取り扱う内容が設けられている。</li> <li>・5・6年では各上下分冊となっており、一冊あたりの分量が少なくなることで、扱いやすくなっている。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ、絵や図、写真の色遣い、レイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の大きさが大きくはっきりと示されている。</li> <li>・有名なキャラクターが使用されていたり、資料等にイラストが多用されていたりすることにより、児童にとって親しみやすい紙面になっている。</li> </ul>
----------------------------	--

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【社会】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			303	403	503	603
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「前の学年を振り返ろう」「社会科の見方や考え方」「社会科の学習の進め方」等が掲載されており、前学年とのつながりを意識できるようにしていたり、「つかむ→調べる→まとめる→つなげる」という社会科の問題解決的な学習の進め方が図で示されたりしている。</li> <li>・重要な語句や押さえない言葉を「キーワード」として示し、「まとめる」の過程で単元のなかに出てきた「キーワード」を振り返り、まとめることができるように設定されている。</li> </ul> </li> <li>② 思考力・判断力・表現力を育む活動のための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力を育むことができるようにするために、「学びのてびき」を設定することで見方・考えが示されている。</li> <li>・表現力の育成を図るようにするために、「まとめる」の過程で多様な表現活動の例が示されている。</li> </ul> </li> <li>③ 実生活の場面への活用・探究的な活動のための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活への活用に向け、「つなげる」の過程で自分たちにできることや未解決の課題について話し合う学習が設定されている。</li> </ul> </li> <li>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・領土問題については、第5・6学年で北方領土、竹島、尖閣諸島が記され、他国が日本の領土を「不法に占領」「不法な占拠」「自国の領土であると主張」と記されている。</li> <li>・国旗・国歌については、第6学年「世界の中の日本」の単元で、導入にオリンピック・パラリンピックの写真や、国旗と国歌の内容の学習を位置づけ、世界の国々文化や習慣への関心を高めたり、互いの国を尊重したりする態度を養うことができるようにしている。また、日の丸・君が代が我が国の国旗・国歌として法律で定められていると記されている。</li> </ul> </li> <li>⑤ 補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるための創意工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことをさらに広げたり、深めたりできるようにするために、単元の終末に「ひろげる」という発展的な学習のページが設けられている。</li> <li>・家庭での自主的な学習が促されるようにするために、「まなびリンク」という学習に役立つ情報を掲載したウェブサイトへアクセスできるように設定されている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童の発達段階をふまえた内容の構成・配列、及び分量の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年1冊になり、学習のつながりを考えた構成や配列になっている。</li> </ul> </li> <li>② 文字の大きさ、絵や図、写真の色遣い、レイアウト等の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字は大きく濃くはっきりとしたもので示されている。</li> <li>・絵や図、写真は明るい色遣いであるが、やや小さくなっている。</li> <li>・1ページのレイアウトとして、資料よりも文字が多くなっている。</li> </ul> </li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【社会】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称			日文	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			304	404	504	604
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 基礎・基本の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な言葉を「キーワード」, 難しい言葉を「むずかしいことば」のコーナーとして随所に設け, 解説が示されている。</li> <li>・巻頭に活動内容(調べる・話し合う等)が具体的に示されている。</li> <li>・「導入」→「学習問題」→「追究・解決」→「発展」という学習過程が示されている。</li> </ul> </li> <li>② 思考力・判断力・表現力を育む活動のための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見方・考え方」コーナーを設け, 「空間」「時間」「関係」を基に, 思考することができる。</li> <li>・実際の活動の仕方が, 「学び方・調べ方」コーナーとして示されている。特に, 発展の活動においては, 様々な幅広い表現活動が提示されている。</li> </ul> </li> <li>③ 実生活の場面への活用・探究的な活動のための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を基に, 今日的な課題に対して, 社会的な見方・考え方を養うために, 「さらに考えたい問題」が設定されている。自分たちにできることの話合いやキャッチコピー作りなど, 具体的に示されている。</li> </ul> </li> <li>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め, 他国を尊重し, 国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・領土について5年では「領土をめぐる問題」として1単位時間設定してある。6年では「国際社会の中の日本」の学習資料「日本の領土や国境をめぐる問題」として取り上げている。「日本固有の領土」に対して, 「不法に占拠」されていたり, 「自国の領土であると主張」していたりしていると記されている。</li> <li>・6年では, 日の丸・君が代が国旗・国歌となった経緯と法律で定められていることが記されている。日本とつながりが深い国として, アメリカ, 中国, ブラジル, 韓国が取り上げられている。</li> </ul> </li> <li>⑤ 補充的な学習や発展的な学習, 家庭での自主的な学習が促されるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル資料の活用ができるように, 教科書上に「デジタルマーク」が示されている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量・使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列及び分量の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年1冊になり, 学習のつながりを考えた構成や配列になっている。</li> <li>・学習指導要領に合わせて, 選択単元を多く設定してある。</li> </ul> </li> <li>② 文字の大きさ, 絵や図, 写真の色遣い, レイアウト等の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真はナンバリングされ, 本文と対応して示されている。</li> <li>・絵や図, 写真は, 適度な鮮やかさで視覚的に捉えやすい大きさとなっている。</li> </ul> </li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【地図】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			301	301	301	301

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳の使い方が2ページを使って説明されている。</li> <li>・地球儀を使って、緯度や経度、方位や距離、形を調べる方法が写真で示されている。</li> <li>・平均気温と降水量のグラフ、地形、水産業・農業・工業・貿易の様子が分かりやすくまとめられている。</li> <li>・日本の歴史年表に沿って、その時代の世界の様子を示す地図が掲載されている。</li> <li>・自然災害について3ページを使ってまとめられており、写真と一緒に解説が付いている。</li> </ul> <p>② 思考力・判断力・表現力を育む活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのページにも、キャラクターがクイズを出したり説明をしたりするコーナーがある。</li> </ul> <p>③ 実生活の場面への活用・探究的な活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市と奈良市、東京の地図が写真やイラストと一緒に示されていて、修学旅行の指導等に生かすことができる。</li> </ul> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史上重要な場所が、青枠の白字で示してある。</li> <li>・世界地図には、草原や砂漠の様子、生息している動物、主な料理等がイラストや写真で示されている。国名は英語でも表記されている。</li> <li>・南極を上にした世界地図も掲載している。</li> </ul> <p>⑤ 補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるための創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山や川、湖、島、建物をイラスト入りで比較しているページがある。</li> <li>・日本の旧国名を表しているページに、世界遺産が写真で紹介されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街を斜め上から見た図→真上から見た図→もっと上空からの図→地図という流れで導入している。日本は100万分の1、50万分の1の地図で表されている。</li> <li>・縮尺の表示に、「地図上の1cmは実際には0kmのきよりを表しています。」という説明をものさしの絵と併せて入れている。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ、絵や図、写真の色使い、レイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標高で色分けをしている。 ・全102ページ</li> <li>・50万分の1の日本地図では、平地を「商業地、住宅地、工業地、田、畑、果樹園、森林・公園、その他」で色分けされている。</li> <li>・特産物がイラストで示されている。</li> <li>・都道府県、大陸、国々を学習するページでは、色分けされて分かりやすくなっている。</li> <li>・都道府県の統計表が大きく、行ごとに色分けしてあり、見やすくなっている。</li> </ul>
----------------------------	---

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【社会】種目【地図】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	46		発行者の略称	帝国		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			302	302	302	302

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための内容の充実・創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳の使い方が4ページを使って説明されている。</li> <li>・地球儀を使って、緯度や経度、方位や距離、形を調べる方法が写真で示されている。</li> <li>・水産業・農業・工業・貿易の様子がグラフと併せて分かりやすくまとめられている。</li> <li>・自然災害について2ページを使ってまとめられており、写真と一緒に解説が付いている。防災の様子についても2ページを使って説明されている。</li> </ul> <p>② 思考力・判断力・表現力を育む活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「トライ！」コーナーや「地図マスターへの道」コーナーがある。</li> <li>・平均気温と降水量のグラフに加え、1月と8月の気温と降水量を色分けで表した日本地図を掲載している。</li> </ul> <p>③ 実生活の場面への活用・探究的な活動のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市と奈良市、東京の地図がイラスト入りで示されていて、修学旅行の指導等に生かすことができる。</li> <li>・「外国語活動でも地図帳を使ってみよう」という言葉で、地図帳の活用法が広がるようにしている。</li> </ul> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の領土とその周りの様子が、東西南北の端の写真と日本固有の領土の写真とともに表されている。</li> <li>・歴史上重要な場所が、青枠の白字で示してある。</li> <li>・世界地図には、主な国の情報が写真や国旗とともに示されている。国名は英語でも表記されている。</li> </ul> <p>⑤ 補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるための創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本地図には、どの見開きページにもQRコードが添付されており、より詳しい情報を得ることができるようになっている。</li> <li>・山や川、湖を比較しているページがある。地形をまとめているページには、「日本で一番〇〇な△△」という情報が掲載されている。</li> <li>・日本の旧国名を表しているページに、世界遺産が写真で紹介されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階を踏まえた内容の構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校周辺を斜め上から見た写真→真上から見た写真→地図という流れと、街を斜め上から見た図と地図を見比べる形で導入している。</li> <li>・日本は160万分の1、100万分の1、50万分の1の地図で表されていて、主要な都市圏は20万分の1程度の地図が掲載されている。さくいんでは、歴史地名は青字、世界遺産は緑字で表されている。</li> <li>・縮尺の表示に、「地図上の1cmは実際には〇kmです。」という説明を入れている。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ、絵や図、写真の色使い、レイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標高で色分けをしている。 ・全120ページ</li> <li>・50万分の1の日本地図では、平地を「市街地、田、畑、茶畑、果樹園、工業地」で色分けされている。20万分の1程度の地図では、「ビル街、建物が密集している所、住宅地、田、畑、公園や緑地、工業地や港、山地や丘陵地」で色分けされている。</li> <li>・特産物がイラストで示されている。</li> <li>・都道府県、大陸、国々を学習するページでは、色分けされ分かりやすい。</li> <li>・都道府県や国の統計表が、行ごとに色分けしてあり、見やすくなっている。生産量・生産額を表したグラフも掲載している。</li> <li>・主な国々の統計表が1ページで掲載されている。</li> </ul>
----------------------------	---

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	101・102	201・202	301・302	401・402	501・502	601
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学年以上の巻末に「ふりかえりコーナー」を設け、児童がいつでも必要に応じて自力で既習の内容を確かめたり調べたりできるようにしている。単元末には、学習した基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の定着を図る「たしかめよう」を設け、理解や技能の定着をいっそう確実なものにする問題で構成している。</li> </ul> <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ活用領域では、統計的な問題解決の方法の段階的な理解のために、問題解決のストーリーに必然性をもたせたり、5、6学年では統計的な問題解決の過程を図式化したり身の回りの事象を統計的に解決する活動を設定したりしている。</li> <li>・単元末では「つないでいこう算数の目」を新設し、数学的な見方・考え方に焦点を当てて振り返ることができるようにしている。</li> </ul> <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の学習を活用して現実の場面での問題解決に活用する「いかしてみよう」が設定され、学習を深めることができるよう配慮している。</li> </ul> <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に「ほじゅうのもんだい」を設定し、更なる習熟が必要な場合に、児童の学習状況に幅広く柔軟に教科書で対応できるようにしている。</li> <li>・2学年以上の「発展的な学習」として、単元の学習を活用して数学の問題解決に取り組む「おもしろ問題にチャレンジ」を設定している。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年の入門期は書き込み式のA4判式の教科書となっている。中綴じになっていることでフラットに広げられ、数字をかいたり数図ブロックを置いたりしやすい。</li> <li>・基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することに重点を置き、1つの学期に理解が困難な内容や確実な知識技能の定着が求められる内容が集中したり、特に低、中学年では同一領域の内容がいくつも連続したりしないようにしている。</li> </ul> <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数、図、式による表現を算数科の言語活動と位置づけ、全学年にわたって数、図、式を読み取って言語で表現する活動などを積極的に取り入れている。</li> <li>・4～6学年では、数直線のかき方や読み取り方を丁寧に示した「数直線の図を使って考えてみよう」を設定し、繰り返し学習に活用できるようにしている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称			大日本	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	103	203	303	403	503	603
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末補充問題「プラスワン」を全単元にわたって設定している。</li> <li>・数単元おきに既習事項を振り返ることができるように「たしかめ問題」のページが設けられている。</li> <li>・全ての時間に学習のめあてを示しており、意識しながら学習を進められる</li> </ul> </li> <li>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方に焦点を当てたまとめ「発見！考え方」や「ひらめきアイテム」により、見方・考え方を働かせながら学習が進められる。</li> <li>・データ活用領域では、単元の導入部分で児童の身近な生活場面における問題や疑問を扱い、統計を使って解く必要感のあるものにしていく。</li> <li>・問題を右ページ、解決方法をめくった次のページに配置する構成を随所に取り入れ、自分でしっかり思考し、それを表現する活動が行えるように配慮している。</li> </ul> </li> <li>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に関連した題材や、学習したことを生活の中で活用する問題を積極的に採用している。</li> <li>・「ふくろう先生のなるほど算数教室」では算数が社会で生かされている事例や、算数を生かして仕事をしている人のインタビューを取り上げ、動画も視聴できる。</li> </ul> </li> <li>④ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おうちでさんすう」では学習したことを家庭で繰り返すことができるように設定されている。</li> <li>・単元末の「たしかめ問題」では、個に応じて取り組む問題を選択できるようにするとともに、「しっかりチェック（基本）」「チャレンジ（発展）」を設け、習熟度別指導などで柔軟に取り扱うことができるようにしている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示された内容をもれなく扱い、活用・補充問題なども豊富に掲載している。</li> <li>・単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、年間の予備時数も十分に確保している。</li> </ul> </li> <li>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1冊にまとめられており、1年間を見越して学習が進められるようになっている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインを取り入れ、色覚の特性によらず情報が読み取れるように配慮している。</li> <li>・巻頭の「算数まなびナビ」で、学習の流れやノートを取り方、話し方・聞き方、基本的なことがおさえられている。</li> </ul> </li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称			学図	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	104・105	204・205	304・305	404・405	504・505	604・605
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な内容については1時間の学習内容に対応した練習問題を時間の終わりの部分に載せ、十分な習熟が図れるようにしている。</li> <li>・単元末の「できるようになったこと」では、その単元の基礎的・基本的な内容を、「まなびをいかそう」では、少し発展的な内容を学習できるようにしている。</li> </ul> </li> <li>② 日常事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ活用領域の学習を「整理」と「活用」に分けることで、必要な知識を身に付けそれをどのように活用していけばよいか明確になるようにしている。単元を分けることで、学んだ知識を再確認しながら活用できるようにしている。</li> <li>・【ノート名人になろう】では、考えや疑問を書くことで学習を深めることを目的とした「考えるノート」と、学習内容をまとめた「まとめるノート」の2パターンを掲載している。ポイントとなる所に吹き出しをつけ、学年の早い時期から一貫したノート指導を行うことができるようにしている。</li> </ul> </li> <li>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末に掲載した「生活にいかす・深めよう」では、その単元や複数の単元で学習した内容を活用して日常の課題を解決する問題となっており、総合的な思考力・判断力・表現力を育てる場として構成している。</li> </ul> </li> <li>④ 児童の学習意欲を喚起し、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常や授業で疑問が生まれる場面を「?を発見」とし、動機づけとして活用しやすくなっている。</li> <li>・巻末補充問題には解答をつけ、家庭学習でも活用しやすいようにしている</li> <li>・単元で学習した内容を統合的・発展的に見直し、学びを深める【ふりかえろうつなげよう】や【深めたいな】などのページを設けている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「割合」など子どものつまずきやすい単元を2つに分け、再度学び直す機会を設定している。</li> <li>・「倍の計算」については、通常の単元とは別に特設単元として扱い、整数、小数、分数のかけ算やわり算の学習のあとに重点的に学習できるようにしている。</li> </ul> </li> <li>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・見方・考え方を明確にして「考え方モンスター」を設定し、モンスターをゲットするようにして「見方・考え方」を意識して学習を進めることができるように工夫されている。</li> </ul> </li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
		106	206・207	306・307	406・407	506
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項が巻末の「学びのマップ」に系統的にまとめられ、学年を超えて既習事項を振り返ることができる。また、つまづきやすい作図技能が「学習の手引き」にわかりやすく説明されている。</li> <li>各単元の「まとめ」では、典型的な誤答が見られる問題について注意して取り組めるようにマークを付けて意識化を図っている。また、その問題に対して【考えるヒント】を掲載し、着眼点を与えて問題に取り組むきっかけをつかめるようにしている。</li> </ul> <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題発見・解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!?’の吹き出しで示し、子どもの「問い」の連続によって学習を進めるスタイルを授業展開の基本にしている。</li> <li>データ活用領域では、データの収集や分類整理、考察などの過程において活動の目的意識を大切にしている。</li> </ul> <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとの活用問題として【学んだことを使おう】を設け、身の周りから算数を見つけたり、算数を使って日常の問題を解決したりするように設定している。</li> </ul> <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習や習熟度に応じた学習に使える練習問題【ステップアップ算数】を設けている。【基本の問題】と【ジャンプ問題】のレベル別問題で構成している。</li> <li>知識を広げるコラムを随所に設け、知的な好奇心が高められるようにしている。</li> </ul>					
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を活用したり統合したりして、学習内容や見方・考え方を関連付けて学べるように配列している。</li> </ul> <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元のまとめでは、学んだことよさや考え方を振り返る4コマ漫画を設け、単元や領域を貫く数学的な見方・考え方を意識付けて学びにつながる工夫がされている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	61	発行者の略称			啓林館	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	108	208・209	308・309	408・409	508	608
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の思考と学習展開に大きなへだたりが生じないようにスモールステップの展開になっている。各学期の中間・期末にあたる時期に『復習』が設定され、その学年や前の学年の内容だけでなく、習熟が必要な計算問題などはさらに前の学年にさかのぼって取り上げられ、基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着するように配慮されている。</li> </ul> </li> <li>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ活用領域では、代表値やヒストグラムは、中学校でも継続して学習することを踏まえた記述構成で丁寧に説明している。統計的な問題解決（PPDACサイクル）を特に意識した箇所では、具体例と吹き出しを充実させて取り組みやすくしている。</li> <li>・思考の助けとなる図、表、式などを多く例示し、話し合いの場面では根拠や手順などを説明する活動を通して数学的な思考力や表現力の育成が図られるよう配慮されている。</li> </ul> </li> <li>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・『みらいへのつばさ』『どんな計算になるのかな』『やってみよう』『さがしてみよう』などで、日常生活に算数の知識・技能を活用する活動が設定されている。</li> </ul> </li> <li>④ 児童の学習意欲を喚起し、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の入り口や出口に補充問題につながるQRコードが示されている。</li> <li>・巻末『学びのサポート』に教材が用意されている。『じゅんび』でレディネスチェックが行える。『もっと練習』で基本の補充問題と少しレベルの高い挑戦問題に取り組み、習熟度や個に応じて選択して学習を進められるように配慮されている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年では興味・関心の持続性を考慮して、1つの単元はできるだけ少ないページ数で構成されている。また、高学年では、関連する内容を連続させたり、同一の単元内で扱ったりすることで、関連づけながら理解できるようになっている。</li> </ul> </li> <li>② 目次，見出し，写真，絵，図表の構成などの工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・主問題や重要文を枠で囲んで見やすくする，1文節が2行にまたがらないようにして読み取りやすくする，学習の『めあて』や『まとめ』を明記するなど，ユニバーサルデザインを採用することでインクルーシブ教育に対する配慮がされている。</li> </ul> </li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【算数】種目【算数】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	110・111	210・211	310・311	410・411	510・511	610
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 数量や図形について基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元途中の「直後の練習」や単元末の「たしかめポイント」では、子どもに多く見られるまちがいの例を取り上げ、誤りを正しく修正することによって、同じまちがいをくり返さないように配慮している。</li> <li>・単元末の「わかっているかな」は、系統的な学習である算数科の特性を重視し、子どもがつまずきやすい内容を再度取り上げることによって、きちんと確認・定着させるようにしている。</li> <li>・単元末の「まちがいやすい問題」では、全国学力・学習状況調査や各地域で実施されている学力調査を分析して明らかになった通過率等の低い問題を重点的に取り上げ、子どもたちが苦手とする内容を克服できるようにしている。</li> </ul> <p>② 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち、筋道を立てて考え表現する能力を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ活用領域では、子どもに身近な素材から表やグラフの必要性を感じられるようにしている。また、表やグラフを使って、身の周りの事象を考察する方法や活動をていねいに扱っている。</li> <li>・「自分で みんなで」では、問題解決型の学習過程のポイントを各ページの右側に具体的に示し、主体的な算数の学びを実現できるようにしている。数学的な表現を用いて筋道を立てて考えたり、伝え合ったりする問題解決型の学習の手順や着眼点とともに、めあてやまとめも示し、一連の学習活動として捉えられるようにしている。</li> </ul> <p>③ 習得した知識・技能を日常生活や学習の様々な場面で活用するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハロー算数」「Hello Math」では、学習したことを身の回りで活用する活動を取り上げ、算数と生活との関連が実感できるようにしている。</li> </ul> <p>④ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「算数マイトライ」は「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」の3コーナーで構成され、基礎・基本から応用・発展まで柔軟な取り扱いができる。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 児童の発達段階に合った学習を展開するための各単元における配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の配当時間の約9割で学習できる分量としている。</li> <li>・低学年は単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かないようにし、内容が領域間で関連深くなる高学年は、学習の効果や効率を考慮し、関連する内容をまとめた配列になっている。</li> </ul> <p>② 目次、見出し、写真、絵、図表の構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインを採用し特別支援教育に配慮している。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称		東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			301	401	501	601
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 理科の見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって観察・実験などを行い、問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れを分かりやすく示すために、問題解決の過程を大きな文字で表し、その文字を線で結んだ「学びのライン」として表している。</li> <li>・問題に対して予想をする場面では、児童の対話場面を想定し具体的な発言例が示され、児童が主体的に考えるためのヒントとなっている。</li> <li>・それぞれの単元において、実験や調査、観察の手順が示されており、見通しをもった活動や振り返りができるように工夫されている。</li> </ul> <p>② 児童の興味、関心、技能を考慮し、知的好奇心を高め、実感を伴う理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の導入の見開きには、児童が既習事項や体験をもとに、自由に発想できる写真資料等を掲載し、児童が「あれ?」「なんで?」という疑問をもとに興味・関心をもって学習に取り組める工夫がされている。</li> <li>・知的好奇心を高めるために、学習したことと生活事象や自然現象とを関連付けて考えることができる「学びを生かして深めよう」のコーナーを設けている。</li> </ul> <p>③ 児童の理解や習熟状況に応じ、補充的な学習や発展的な学習が行え、家庭での自主的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に向けて、様々な見方・考え方ができるように「理科のミカタ」コーナーを設けている。さらに、学習したことを他学年や他教科の学習と関連付けて考えることができる「学んだことを使おう」コーナーを併設している。</li> </ul> <p>④ 観察実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全への配慮が必要な箇所には「きけん」マークが付けられている。</li> <li>・各学年に自然環境を考えるマークが付けられ、注意を促している。</li> </ul> <p>(2) 構成、配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に合わせた単元構成がなされている。</li> <li>・年間10時間程度の余裕を持たせることで、体験活動や発展的・補充的な学習の時間が十分に確保されるように工夫されている。</li> </ul> <p>② 見出しや写真、イラスト、レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大判化、美しい写真やイラスト、工夫された折込みがされている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称			大日本	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
				302	402	502
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 理科の見方・考え方を働かせながら，児童が見通しをもって観察・実験などを行い，問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目次にある理科の学び方に合わせて内容が作られており，見通しをもって学習ができる。また，結果や考察，結論が別ページとなっており教科書を使って問題解決学習を進めることができる。</li> </ul> <p>② 児童の興味・関心，技能を考慮し，知的好奇心を高め，実感を伴う理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の導入ページで具体的な活動の見通しがもてるような写真やイラスト・見方・考え方が示されている。深めようのコーナーで学習の理解が深まるような実験・まとめ方を取り上げている。</li> </ul> <p>③ 児童の理解や習熟の状況に応じ，補充的な学習や発展的な学習が行え，家庭での自主的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理科のたまたまばこ，サイエンスワールドのコーナーで補充・発展的な内容を扱い理科の世界を広げていけるようになっている。</li> </ul> <p>④ 観察・実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>注意のフォントや大きさが他の文字と異なり，意識しやすくなっている。環境マーク，ESDマーク等現代的な諸課題に対応した記述が多数用意されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 内容構成の系統性と問題解決の能力をそだてるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科の最後に学年のまとめと来年度学習する内容の紹介があり，意識をつなぐ工夫がされている。関連のある単元では，既習事項の確認をする記述がされている。</li> </ul> <p>② 見出しや写真・イラスト・レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年の応じた付録がついている。ページの余白もあり，文字の改行や位置など読みやすくなっている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

## 1 研究委員氏名



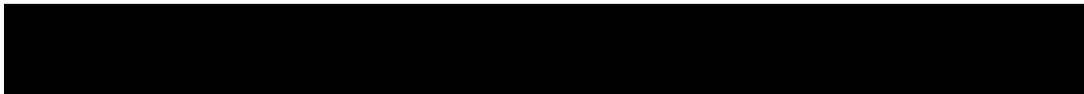
## 2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称			学図		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
			303	403	503	603	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 理科の見方・考え方を働かせながら、児童が見通しをもって観察・実験などを行い、問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年冒頭に、学習の流れ「科学の芽を育てよう」を示し、見通しをもって自らの疑問を解決するにはどうしたらよいか問題解決の道筋がわかりやすいように明示されている。また、学習の流れを8つの段階に分け、問題解決の道筋が細かく示されている。</li> <li>問題をすぐに提示するのではなく、児童から問いが生まれるように話し合いや活動などの学習活動が設定されている。</li> </ul> <p>② 児童の興味・関心、技能を考慮し、知的好奇心を高め実感を伴う理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供が自然に親しみ、自然の事物・現象に直接接触する場や機会を積極的に設けており、見る、触れる、作る、試す、探すなどの感覚に基づいた活動が取り上げられている。</li> <li>学習内容に関連した仕事（農業、建築など）や生活とのつながり（防災、発電など）が紹介しており、学んだ内容が生活に生きていることを実感できるような構成になっている。</li> </ul> <p>③ 児童の理解や習熟の状況に応じ、補充的な学習や発展的な学習が行え、家庭での自主的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容が確認できる基礎問題「ふりかえってみよう」に加え、発達段階に合わせた「活用しよう」や、指導要領外の内容を扱った「はってん」が掲載されている。</li> </ul> <p>④ 観察・実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験器具の扱い方を紹介する動画のQRコードが掲載されており、タブレットを活用すれば児童が見ながら安全に使用できるようになっている。</li> <li>安全面への配慮事項を目立つように色やフォントの大きさを工夫している。</li> </ul>						
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飼育栽培活動が、各地域の特性に応じて単元の配列や教材の選択ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>② 見出しや写真・イラストのレイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スモールステップで写真と対応させて器具の扱い方が説明されていて、どの子供にもわかりやすいものになっている。</li> <li>扉ページに学習意欲を高めるために大きくて美しい写真が掲載されている。</li> </ul>						

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
				304	404	504
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 理科の見方・考え方を働かせながら，児童が見通しをもって観察・実験などを行い問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の巻頭に「学習の進め方」が設けられ，問題解決の学習の流れを意識しながら，見通しをもって学習に取り組めるように配慮されている。</li> <li>問題をつくる場面や問題解決の場面では，所々に理科の見方・考え方を大切にしたい吹き出しが設けられており児童の考えを補う支援がなされている。</li> </ul> <p>② 児童の興味・関心，技能を考慮し，知的好奇心を高め，実感を伴う理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の導入では，身のまわりの事象について不思議に感じられる場面や，主体的に活動を行いたくなるような場面が大きな写真とともに設けられている。</li> <li>各学年の巻頭や学習の初めなどに，学習内容と関連のある専門家からのメッセージを掲載し，理科の学習への興味を高められるように工夫されている。</li> </ul> <p>③ 児童の理解や習熟の状況に応じ，補足的な学習や発展的な学習が行え，家庭での自主的な学習が促されるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の評価問題「たしかめ」に活用設問が掲載されている。また，学習事項を生活と関係付けて考えるための「学びを広げよう」が設けられている。</li> </ul> <p>④ 観察・実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に，実験器具の使い方が示されており，実験の安全に対する注意事項には「注意マーク」がけがや火傷の危険がある場合には「危険マーク」が付けられている。また，裏表紙には「理科の安全の手引き」が掲載されている。</li> <li>学習内容と関連する環境保全の取組などを資料や科学読み物で紹介し，「地球となかよし」マークを付けて環境保全を意識できるように工夫されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の見出しのページに「学習のつながり」を示し，系統性を意識できるように工夫されている。</li> </ul> <p>② 見出しや写真・イラストのレイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3学年では，巻末に実物大の昆虫や植物の写真が示されている。また，第6学年では，折り込みページを使い，体に当てて使うほぼ実物大の内臓の様子イラストが掲載されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【理科】種目【理科】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	61	発行者の略称			啓林館	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
				306	406	506
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 理科の味方・考え方を働かせながら，児童が見通しをもって観察，実験などを行い問題解決の力を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「自然の不思議をとき明かそう！」を設け，問題発見から解決までの流れが明示されている。</li> <li>・課題解決の流れを「問題をつかもう」「問題」「予想と計画」「観察・実験」「結果」「結果から考えよう」「まとめ」「もっと知りたい」という言葉で表し，その後の各単元，学習で常に使用されている。</li> </ul> <p>② 児童の興味・関心，技能を考慮し，知的好奇心を高め，実感を伴う理解を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えてみよう」「思い出してみよう」を設け，導入段階で自分の考えを持つことができ，主体的に学習に取り組める工夫が行われている。</li> <li>・「理科の広場」「つなげよう」で，学習内容と生活を結び付け，科学的に考えることができる工夫がされている。</li> </ul> <p>③ 児童の理解や習熟の状況に応じ，補充的な学習や発展的な学習が行え，家庭での自主的な学習が促される工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末「ふり返ろうまとめノート」を設け，文字とイラストで学習内容を分かりやすくまとめて示している。また「たしかめよう」で学習内容の確認，定着が図られている。</li> <li>・QRコードを読み取ることで，学校でも家庭でも補充問題に取り組めるようになっている。</li> </ul> <p>④ 観察，実験などの安全と環境への配慮についての記述の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察，実験のページでは，注意喚起だけでなく，保護眼鏡の使用や火傷に注意する旨を伝えるマークを設定し，一目で危険の種類を把握できるようにしている。また，なぜ危険なのかが伝わる文の工夫が行われている。</li> <li>・「みんなで使う理科室」で，理科室や薬品，器具の使い方を分かりやすく確認できる工夫が行われている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 内容構成の系統性と問題解決の能力を育てるための単元配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「これまでの学習をつなげよう」で，複数単元の内容のつながりを意識し，知識を確認したり，思考を促したりできるように工夫されている。</li> </ul> <p>② 見出しや写真，イラスト，レイアウトの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚過敏の児童への配慮がされており，基本的にユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・実験手順と結果が掲載されるページが表裏になっており，結果だけを知ることがないレイアウトになっている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称			東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
		101	102			
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴のよさ，それらの関わり等に気付くことができる具体的な活動や体験の取り入れ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上巻では定点観察ができる公園が掲載されている。季節の変化に気付きながら公園の様子や自然の様子を観察したり，遊んだりする体験活動が紹介されている。</li> <li>・下巻には身近な人にインタビューしながら自分自身や身の回りに気付く活動が紹介されている。</li> </ul> <p>② 自分自身や自分の生活について考えたり，生活上必要な習慣や技能を身に付けたりするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とともに考えられるよう，保護者に向けたコメントが随所にあり，実生活に結び付けられるように工夫されている。</li> <li>・「かつどうべんりてちょう」「ポケットずかん」があり，必要な技能や調べたいことの手助けとなっている。また「ポケットずかん」は，実物大の絵があり，取り外しができる。</li> </ul> <p>③ 挿絵・写真・図表・カードを使った表現活動や言語活動，探究活動の工夫</p> <p>カードの様式がほとんど統一してあり，安心して表現できる工夫がされている。また，吹き出しを適宜使い，学習を深めていくヒントを児童自身が気付けるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の活動が写真や絵で紹介してあり，活動の見通しがもちやすいよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列および分量，使用上の便宜等</p> <p>① 地域や学校，児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上巻では，自分自身に気付く工夫がされ，下巻では，自分自身に取り巻く社会とのつながりが意識され展開されている。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ，書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書体とゴシック体を適宜使い分けしてある。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称			大日本	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	103	104				
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わり等に気付くことができる具体的な活動や体験の取り入れ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・児童の感性を刺激し，季節ごとの自然の不思議さや面白さに気付くことができるような活動や体験が取り上げられている。</li></ul> <p>② 自分自身や自分の生活について考えたり，生活上必要な習慣や技能を身に付けたりするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「せいかつことば」や巻末の「がくしゅうどうぐばこ」などで，語彙力や表現力，生活や活動に必要な技能について掲載されている。</li></ul> <p>③ 挿絵，写真，図表，カードを使った表現活動や言語活動，探究活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体験した児童の「気付き」や「感動」が，写真，カードで表現されている。</li><li>・「気付き」をさらに深めていく問いかけが，キャラクターの台詞として表現されている。</li><li>・児童の意欲を喚起する仕掛けページが設けられている。</li></ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 地域や学校，児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・季節に沿った大単元構成になっており，季節の移り変わりに沿ってページが進み，児童にとって無理のない活動が展開されていくように構成されている。</li></ul> <p>② 文字の大きさ，書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各ページでどのような活動を行うのか，端的に分かりやすく表記されている。</li></ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称			学図	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	105	106				
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くことができる具体的な活動や体験の取り入れ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとではなく、飼育・栽培・自然・遊び・成長などで単元がまとめられているので、それぞれが比較しやすい。</li> <li>・活動が「計画→実行→振り返り→改善」などのステップアップ方式での展開とすることで、児童自身が自ら課題を見付けて、解決していくことができるようにしている。</li> </ul> <p>② 自分自身や自分の生活について考えたり、生活上必要な習慣や技能を身に付けたりするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートカリキュラムに対応し、親しみやすいイラストで学校生活に必要な習慣や技能が示されている。</li> <li>・巻末「学び方ずかん」に見方、話し方、聞き方、書き方などが取り上げられ、各単元で利用できる。</li> <li>・QRコードから製作・飼育などの動画が簡単に視聴でき、具体的な方法が確認できる。</li> </ul> <p>③ 挿絵、写真、図表、カードを使った表現活動や言語活動、探究活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録カード、手紙、設計図などの書き方が詳しく説明され、理科・社会の学習への連携がされている。</li> <li>・4人の子どもを等身大のキャラクターとして使用することで子ども同士の対話を引き出すことができる。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列および分量、使用上の便宜等</p> <p>① 地域や学校、児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飼育・栽培・自然・遊び・成長の五単元で構成されており、目次を見ると学習の時期が分かる。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ、書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活を知る巻頭部分が小さめの書面でめくりやすい。</li> <li>・植物、昆虫などが大きくイラストで描かれていて、実物と比べやすい。</li> <li>・左ページ上部に、活動内容が「計画→実行→振り返り→改善」のどの部分に当たるかを示している。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	107	108				
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わり等に気付くことができる具体的な活動や体験の取り入れ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の遊びから小学校での学びへとつながるよう絵本仕立てのページを含むスタートカリキュラムのページが位置付けられている。</li> <li>・年間を通じた同じ場所の挿絵を掲載し，季節の変化について考える活動を取り入れている。</li> <li>・観察やインタビューなど体験的な活動や交流を取り入れ，気付いたことをカードや地図にまとめ，振り返るような活動が紹介されている。</li> </ul> <p>② 自分自身や自分の生活について考えたり，生活上必要な習慣や技能を身に付けたりするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの単元も，身近な環境の中から，感じることや疑問に思うことをこれまでの体験や知識とつなげて，考えられるような学習場面を設定している。</li> <li>・地域の行事や生き物や植物の図かんなどが掲載されている。</li> <li>・巻末の「学びのポケット」には必要な習慣や技能，学び方がまとめて紹介されており，他教科・領域との関連についても併せて紹介されている。</li> <li>・安全面の配慮などの注意事項や，調べ方や考え方の視点がどの単元にも右端のページに挿絵とともに示されている。</li> </ul> <p>③ 挿絵，写真，図表，カードを使った表現活動や言語活動，探究活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の終末では，単元全体の振り返りの例が紹介され，自己評価をする欄が設けられている。</li> <li>・自分が作りたいものや見つけた自然の物などが書き込めるページがある。</li> <li>・自然物を使ったおもちゃや遊び方の例などが紹介されている。</li> </ul>					
	<p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 地域や学校，児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きや行動範囲が広がっていくように単元が構成されている。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ，書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成を目指す資質・能力の3観点に合わせて，単元目標が①~⑥のキーワードで毎ページ示されている。</li> <li>・見出しの文字の色や大きさが工夫されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村			
学年別の教科書番号	1年 111	2年 112	3年	4年	5年	6年
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 自分自身・身近な人々社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くことができる具体的な活動や体験の取り入れ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・体験活動と表現活動の相互作用の中で、個々に気付いたり気付きを関連付けたり、視点を変えて捉えたりすることを意図した「深い学び」の具体例を随所に位置付けている。体験活動には、諸感覚を通じたものに加え、見つける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどを掲載している。</li></ul> <p>② 自分自身や自分の生活について考えたり、生活上必要な習慣や技能を身に付けたりするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生活上必要な習慣や技能は、活動する中で自然に身につくように、イラストや写真で分かりやすく紹介されている。自分自身で考えられるように、「！」マークで気を付けることを呼びかけたり、「？」マークで考えさせたい内容を示したりしている。</li></ul> <p>③ 挿し絵、写真、図表、カードを使った表現活動や言語活動、探究活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・上巻・下巻の巻末には、単元ごとにシールがついており、児童の思いや体験したことを記入できるようになっている。言葉、絵、動作、劇化等の表現方法に加え、ICT機器の活用例も掲載している。</li></ul> <p>(2) 構成・配列および分量、使用上の便宜等</p> <p>① 地域や学校、児童の実態に応じて、系統的、発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・季節ごとに単元を構成しており、児童の思いや思考の流れに沿って導入の「ホップ」→展開の「ステップ」→継続・展開の「ジャンプ」という段階ごとになっている。</li></ul> <p>② 文字の大きさ、書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・写真イラストをふんだんに使い、分かりやすく平易な表現である。写真・イラストに添えられたコメントは、児童の発言やつぶやきが主である。</li></ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	61		発行者の略称	啓林館		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	113	114				
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くことができる具体的な活動や体験の取り入れ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の移り変わりをベースに、上巻は「学校」下巻は「地域」に視点を当てた活動や体験が取り上げられている。</li> <li>・身近な人々、社会及び自然と繰り返し関わったり、何度も試行錯誤したりしながら、気付きを深めていく様子を大切にされたストーリーを展開している。</li> <li>・各単元末に、自分の活動を具体的に振り返ることができる「できるかな できたかな？」のコーナーが設けられている。</li> </ul> <p>② 自分自身や自分の生活について考えたり、生活上必要な習慣や技能を身に付けたりするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の「がくしゅうずかん」では、活動のヒントとして、遊び、言語、調べ方やまとめ方、安全などに関わる習慣や技能について掲載されている。</li> </ul> <p>③ 挿絵、写真、図表、カードを使った表現活動や言語活動、探究活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動で得られる「気付き」や「思いや願い」などを、カードで例示したり、キャラクターの台詞として表現されたりしている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 地域や学校、児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の内容を全て「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」と3段階の展開構成にし、活動の流れを明確化することで、見通しをもって主体的に活動することができるようにしている。</li> <li>・日常生活から単元が始まるようにし、無理のない状況が設定されている。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ、書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上巻下巻とも書体を統一し、特に大切なところについては、文字の大きさや色で見やすく工夫されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【生活】種目【生活】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	115	116				
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴のよさ，それらの関わり等に気付くことができる具体的な活動や体験の取り入れ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって身近な学校や公園が定点観察でき，季節によっての変化に気付く視点がさりげなく支援されている。</li> </ul> <p>② 自分自身や自分の生活について考えたり，生活上必要な習慣や技能を身に付けたりするための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちえとわざのたからばこ」として活動に必要な技能等がまとめられている。</li> </ul> <p>③ 挿絵・写真・図表・カードを使った表現活動や言語活動，探究活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードの様式がほとんど統一してあり，児童が創意工夫できるようになっている。</li> <li>・単元ごとに「ポケットずかん」があり，教科書だけでもある程度調べられるようになっている。</li> <li>・多様な表現活動が紹介されており，児童が見通しをもちやすいよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列および分量，使用上の便宜等</p> <p>① 地域や学校，児童の実態に応じて系統的・発展的に活動が展開できるような単元構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上巻ではスタートカリキュラムが意識され，そこから自分自身に気付ける展開になっている。下巻では，自分自身と関わりのある身近な人々や自然に気付けるよう工夫されており，3年生へのつながりも意識しており，系統的発展的に学べる工夫がされている。</li> <li>・各見開左ページ下には，学習のめあてが示されており，右ページ下には，次の活動へいざなう「ふりかえる つなげる」コーナーが設けられている。</li> </ul> <p>② 文字の大きさ，書体や表記などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しの文字がカラーで分かりやすい。</li> <li>・教科書の右上に，他ページとの関連が表記してある。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【音楽】種目【音楽】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17		発行者の略称	教出		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	101	201	301	401	501	601
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通事項がページの右上に「音楽のもと」として示され、巻末に「音楽のもと」まとめとして詳しく表示されていることで、学習事項を振り返りながら学習を進めることができる。</li> <li>・学び方を知るための「まなびナビ」により、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え、判断し表現する力をはぐくむ言語活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽科の言語活動にかかわる「音楽を表すいろいろな言葉」が巻末に提示され、児童が使用したり考えを共有したりできるように工夫されている。</li> <li>・中学年以降では、児童が主体的・協働的に学ぶためのヒントやプロセスを示した「学び合う音楽」のコーナーが設定されていて、情報量が多く活用しやすい工夫がされている。</li> <li>・音楽づくり「音のスケッチ」の学習では、即興的に表現することを通して児童が音楽づくりの様々な発想を得ることや、「即興的な表現」と「音を音楽へ構成すること」とのつながりを児童が音や音楽を、自己のイメージや感情と関連づけながら学習を進められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 内容が系統的に構成され，学習を効果的に進めるための配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の後半に参考教材が充実しており，学校の実態に応じて扱ったり児童が多くの曲にふれて学習に対する意欲を高めたりすることができるような工夫がされている。</li> </ul> <p>② すべての児童にとって学習しやすいレイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に優しい色使いで，刺激を受けやすい児童に対する配慮が感じられる。</li> <li>・写真やイラストなどをワイドに効果的に配置し，透明シートや折込ページも設定し，想像豊かに学習を展開できるよう工夫されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【音楽】種目【音楽】

## 1 研究委員氏名



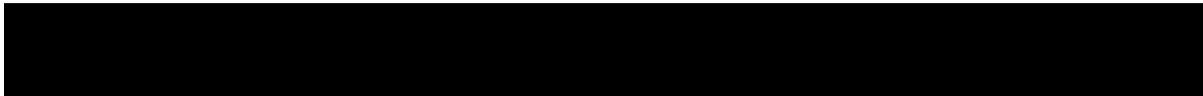
## 2 報告

発行者の番号	27		発行者の略称	教芸		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	102	202	302	402	502	602
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎基本の確実な定着を図るための内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽科の確かな学力を育むために、題材のねらいを踏まえた学習目標や活動内容が題材ごとに明記されている。</li> <li>・新出事項が大きくわかりやすく扱われており、児童の理解を促すよう工夫されている。</li> <li>・直接書き込めるワークシートのページが多く用意され、学習のポイントを理解しながら教科書だけで学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・共通事項がページの右下に示され、巻末に「ふり返りのページ」としてまとめられ、学習事項を振り返りながら学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>② 知識技能を活用し、自ら考え、判断し表現する力をはぐくむ言語活動の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を通して共通のキャラクターが設定されており、児童に考えたり表現したりすることを促すような吹き出しが効果的に挿入されている。</li> <li>・音楽づくりのページでは、学習課題に沿った活動の手順も盛り込んでいるため、児童の思いや意図を生かして、主体的対話的な学習を引き出し、深い学びを促すよう工夫されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるための配列や分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材ごとに「A表現（歌唱・器楽・音楽づくり）」と「B鑑賞」の領域が関わりを持ちながら学習を展開できるように、バランスよく教材が配置されている。</li> </ul> <p>② すべての児童にとって学習しやすいレイアウト等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の巻頭に「音楽の木」として1年間の学習内容がイラスト表示され、学習活動をイメージしやすくなっている。また、目次では題材ごとにはっきり色分けされている。</li> <li>・楽譜・挿絵・文字が見やすくゆったりしたレイアウトで、支援の必要な児童も落ち着いて学習に取り組めるような配慮がされている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【家庭】種目【家庭】

## 1 研究委員氏名



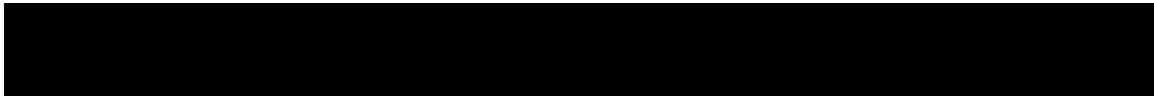
## 2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称			東書	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					501	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 日常生活に必要な基礎的・基本的知識及び技能を習得するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつも確かめよう」では、身につけたい技能を示し、児童がいつでも確認できるようにするとともに実習とセットで扱うことで、日常生活でも生かすことができるように配慮されている。</li> <li>・写真とイラストを併用して示している。</li> <li>・実寸写真など実習をするうえで必要な資料を載せている。</li> <li>・Dマークがあるところでは、インターネットに接続し、基礎技能動画を見ることができる。</li> </ul> <p>② 日常生活の中から課題を設定し、考えたことを表現する活動が充実するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の導入では、「リード文」や「学習の流れ」、身近な場面の写真等を示し、見通しをもち課題をもって学習ができるように配慮されている。</li> <li>・問題解決的思考が身につくよう、3ステップ（1見つめよう 2計画しよう・実践しよう 3生活に生かそう・新しい課題を見つけよう）で構成されている。</li> <li>・考えたり調べたり話し合ったりする等様々な活動を通して主体的・対話的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</li> </ul> <p>③ 家族や地域の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「深めよう」では、児童が自主的に家庭や地域で取り組めるような具体例が示されている。</li> <li>・「生活を変えるチャンス！」が5か所に設置されており、児童が自分の課題を見つけ、家庭や地域の人と関わりながら計画を立てて実践できるように工夫されている。</li> </ul> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解を深められるように、伝統的な生活文化に関する学習項目に「日本の伝統マーク」をつけたり、「プロに聞く」で日本の伝統的な生活が紹介されたりしている。</li> </ul>					
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 学習を系統的・効果的に進めるための構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大題材が15で構成されている。</li> <li>・生活の営みに係る見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、視点を意識して学習が進められるように配慮している。</li> </ul> <p>② 目次、凡例、諸表、レイアウトや表記等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報量を充実させ、資料性、視覚的効果を高め、学習の流れを把握しやすくするため、AB版からA4版へサイズを大きくしている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【家庭】種目【家庭】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	9	発行者の略称			開隆堂	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					502	

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 日常生活に必要な基礎的・基本的知識及び技能を習得するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を細かく構成・配列し、スモールステップで学習が積み上げられるようになっている。身につけた基礎・基本をもとにして計画的に工夫し、応用させながら生活に生かしていく力が身につけられるよう配慮されている。</li> <li>・写真とイラストで分かりやすく例示されている。</li> <li>・実物大の写真で技能の習得をサポートしている。</li> <li>・QRコードを読み取って動画等の資料を見たり操作したりできるようになっている。</li> </ul> <p>② 日常生活の中から課題を設定し、考えたことを表現する活動が充実するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の導入では、フォトランゲージの手法を用いて、児童がその題材での学習に興味・関心をもって取り組むことができるようになっている。</li> <li>・自分自身の生活を見つめることを出発点とし、わかり、できるようになり、身につけた知識や技能を自らの生活に生かし深めていくことができよう、3つのステップ（1見つける・気づく 2わかる・できる 3生かす・深める）で構成されている。</li> <li>・「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「話し合おう」などの問題解決型学習を取り入れることで、主体的・対話的な深い学びにつなげることができるようになっている。</li> </ul> <p>③ 家族や地域の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを実践につなげようとする意欲が高まるよう、題材の終わりには、「ふり返ろう」とともに「生活に生かそう」の項目を設けている。</li> <li>・「レッツトライ生活の課題と実践」では、3つの課題例があり、課題解決に向かうためのステップを示されており、学んだことを家庭で実践できるように配慮されている。</li> </ul> <p>④ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の独自の文化と先人の工夫に気付くことができるよう、伝統的な生活文化に関する学習項目に「伝統」マークをつけたり、「〇〇にかかわる人」や「チャレンジコーナー」で日本の伝統文化を多く紹介したりしている。</li> </ul>
	<p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 学習を系統的・効果的に進めるための構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大題材が20で構成されており、地域や学校事情等によって順序の組換えがしやすく工夫されている。</li> <li>・生活の営みに係る見方・考え方が「四つ葉のクローバー」で表現され、いろいろなところに配置していることで、視点を意識して学習が進められるように配慮している。</li> </ul> <p>② 目次、凡例、諸表、レイアウトや表記等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの単語が行をまたがないように調整されており、ユニバーサルデザインに基づいている。</li> </ul>

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 図画工作科 】種 目【 図画工作 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	9	発行者の略称			開隆堂	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	101	102	301	302	501	502
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 知識技能を活用し、自ら考え判断し表現する力を育む造形活動の内容が充実していること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の資質・能力3つの柱に沿ったキャラクターで学習のめあてを示している。また、各題材でねらう中心的なめあてが強調されている。</li> <li>・基礎・基本としての幅広い知識と技能を身に付けるために、形や色などの造形要素、表現技法や材料・用具の知識などが整理されている。また、各題材で表現のために必要な技法や知識が題材ページに示されている。</li> </ul> </li> <li>② 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動が充実していること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材の最後に「あわせて学ぼう」のマークとともに教科名を示し、教科横断的な扱いができるようになっている。</li> <li>・「みんなのギャラリー」「学びのしりょう」のコーナーには、各地域における造形活動等が紹介されており、児童が自らの活動を広げるヒントとなっている。</li> </ul> </li> <li>③ 生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力が育成される内容が充実していること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が、図画工作科の学習で培った力が身近な生活や社会につながっていることを理解、実感しながら、生活の中に図画工作科での学びを生かすことができるように、各学年のp.6～7には教科書題名とつなげた美術作品や造形活動が示されている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 内容の系統性の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の活動と関連させた題材を設定している。高学年の題材においては、美術科のみならず技術科へとつながるような題材を設定している。</li> </ul> </li> <li>② 全体の配列・分量の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に示されている年間授業時数をふまえ、題材の軽重のバランスが整えられている。</li> </ul> </li> <li>③ レイアウト（表紙、目次、写真、文字や記号の大きさ、書体）、造本など <ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材のページ左上に使用する主な用具、題材名、発想や構想を促すリード文、学習のめあてがまとめて明確に示されている。</li> <li>・児童の学習活動の様子を表した写真が大きく掲載されている。</li> </ul> </li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 図画工作科 】種目【 図画工作 】

## 1 研究委員氏名

## 2 報告

発行者の番号	116	発行者の略称	日文			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	103	104	303	304	503	504

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 知識技能を活用し、自ら考え判断し表現する力を育む造形活動の内容が充実していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの題材にも新学習指導要領の資質・能力3つの柱に沿ってめあてが示されている。加えて、発想のヒントを伝えたり学びを促したりするキャラクターが配置されている。</li> <li>・児童が「創造的に発想や構想」をすることができるように、その手掛かりとなる多様な情景写真や参考作品が掲載されている。また、より発想や構想を広げたり深めたりすることができるように、作品のコメントや制作過程のワークシートなども掲載されている。</li> </ul> <p>② 他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動が充実していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図画工作のつながりひろがり」のページでは、各学年の発達段階に合わせて、新たな活動を探るきっかけになるアーティストの活動や地域とつながって展開される造形活動が紹介されている。</li> <li>・他教科での学習を生かしたり、関連付けたりした題材や事例を掲載し、教科等横断的な視点でカリキュラム・マネジメントができるよう配慮されている。また、道徳との関連がある題材のページは、マークを用いて示されている。</li> </ul> <p>③ 生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力が育成される内容が充実していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材の最後に「活動の後で」のコーナーが設けられており、自らの学習を振り返って、次の学習へとつなげるきっかけとなるような仕掛けとなっている。</li> <li>・各学年共に最初に見開き3ページで、身近なものから美術作品まで多様な形や色に出合える「教科書美術館」が設けられている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 内容の系統性の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1・2年上」では、幼児期の造形遊びと図画工作の学びをつなげ、「5・6年下」では、美術科のみならず技術科へとつながるような内容が示されている。</li> </ul> <p>② 全体の配列・分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年とも共通して造形活動の内容は、各活動が偏りなく巡ってくるような配列となっている。</li> </ul> <p>③ レイアウト（表紙，目次，写真，文字や記号の大きさ，書体），造本など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての題材が見開きページで示され，情景写真と作品写真がバランスよく整然と配置されており，見やすく授業の流れがつかみやすい。</li> <li>・作品例が全体的に大きく掲載されており，鑑賞活動が進む助けとなっている。</li> </ul>
----------------------------	---

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

## 1 研究委員氏名



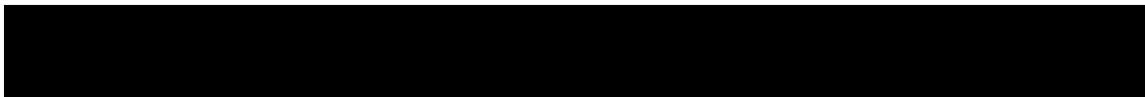
## 2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	301			501		
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の学びの意欲を高めるため、今日的な健康課題に対応した「資料」のページが充実している。</li> </ul> <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ステップ4では、学んだことを記述でまとめ、自分自身を振り返ることができるようにしている。</li> </ul> <p>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子を伝えるため、イラストや吹き出し等を多く掲載している。</li> <li>挿絵や写真では、男女の比率やそれぞれの役割に偏りがないように配慮している。性別により固定的なイメージを持ちにくいように工夫している。</li> <li>情報化社会に対応し、インターネットで調べるヒントとなる「けんさくマーク」や動画を視聴できるための「Dマーク」が用意されている。</li> </ul> <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持ち、主体的に学習できるよう、各項に「ステップ1」～「ステップ4」の学習活動を設定している。</li> <li>単元の初めに学習の進め方が示されている。</li> </ul> <p>⑤ 今日的な課題の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害によるけがの防止、自転車安全利用5則、インターネットによる犯罪被害、安全マップづくり等について詳しく取り上げている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学年では説明を簡潔にし、イラストや写真を多く載せている。高学年では、学びにつながる資料等、説明も充実している。書き込み欄の広さも配慮している。</li> </ul> <p>② 内容の配列・構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持って学習できるよう、基本的に1項目を1単位時間4ページで構成している。</li> </ul> <p>③ 分量や文字、記号の大きさ、見やすさ、造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルに配慮している。</li> <li>特別支援教育への配慮から、紙面の色を限定して構成している。落ち着いた紙面となっている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【体育】種目【保健】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	4	発行者の略称			大日本	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
				302		502
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活とのかかわりから、健康・安全について学習活動をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の導入で、学習をナビゲートする身近な生活からのゲームがあり自然と学習の課題に気づくことができるよう工夫されている。</li> <li>児童が自らの生活を振り返りながら、思考、活動を行う内容を取り入れている。</li> </ul> <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>随所に「活用して深めよう」が設けられており、学習したことをほかの場面に応用したり、自分の生活に落とし込んだりして、「深い学び」につながるよう工夫してある。</li> </ul> <p>③ 写真、挿絵、図表等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の参考になる写真やイラストが示されている。</li> </ul> <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題をもち、その解決に向けて主体的に学習活動を進めていくことができるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向けてのヒントや視点がキャラクターの吹き出し等を用いて具体的に示されている。また、キャラクターを少数に精選している。</li> <li>課題をつかむ→課題を解決→活用して深める→まとめ→毎日の生活に活かそうという進め方を示し、主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。</li> </ul> <p>⑤ 今日的な課題の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック・パラリンピック教育やがん教育、生命尊重、日本の伝統や文化、キャリア教育、多様な性の尊重など豊富に取り上げている。</li> </ul> <p>(2) 構成、配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年生では、中学校の学習との接続を意識した資料や活動を取り入れるなど、系統的な学びのために、学年・教科横断的な学習を多く取り入れている。</li> </ul> <p>② 内容の配列、構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「技能」について確実に習得ができるよう、学習内容の配列、構成など工夫されている。</li> </ul> <p>③ 分量や文字・記号の大きさ、見やすさ、造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1単位時間の内容が見開きで構成されている。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	207	発行者の略称		文教社		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			303		503	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の初めの動機付けのページには、各学年に応じて生活を振り返ったり、調べたり、話し合ったりする活動のページを示して、児童が単元の見通しをもって、学習に取り組むことができるように構成されている。</li> </ul> <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健の先生や警察官などの「大人キャラクター」を登場させ、会話形式をとることによって、児童が思考しやすいように工夫されている。</li> </ul> <p>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題追求の助けとなるイラストを多数配置して、視覚効果を重視したレイアウトになっている。また、イラストは分かりやすく親しみやすいタッチで色刷りされている。</li> </ul> <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「動機付け」「考えてみよう・調べてみよう」「話し合ってみよう」「新しい自分へレベルアップ」のコーナーを配置して児童が主体的に学習できるように、構成・レイアウトされている。</li> </ul> <p>⑤ 今日的な課題の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「熱中症の予防」や「災害から身を守る」の内容について取り上げ、今日的な内容を掲載している。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量，使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3・4年生では、丸を記入したり色を塗ったりする活動のページが設けられている。また、5・6年生では、学習したことをもとに自分の考えを記入する欄が設けられている。</li> </ul> <p>② 内容の配列・構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「感謝の気持ち」や「家の人や回りの人に支えられていること」が理解できる内容が構成されている。</li> </ul> <p>③ 分量や文字，記号の大きさ，見やすさ，造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表紙製本は丈夫で，二年間の使用に十分耐えられる。見やすいA4版である。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	208	発行者の略称				光文書院	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
			304		504		
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の導入「はじめに」で身近な話題を提示し、学習課題がつかみやすい工夫がされている。</li> </ul> </li> <li>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りができるよう、まとめの段階で「生かそう、伝えよう」の記述欄が設けられている。</li> </ul> </li> <li>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の紹介に4コマ漫画を掲載している。</li> <li>・巻頭ページに、オリンピック・パラリンピックの選手の写真とコメントを掲載している。</li> </ul> </li> <li>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ下に他教科・他学年の学習の関連事項を載せて、主体的に学べるように配慮している。</li> <li>・学習の進め方を提示し、話し合う活動を多くとりながら、学びが深まるように工夫されている。</li> </ul> </li> <li>⑤ 今日的な課題の取り上げ方の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展的な内容として、「自然災害から身を守る」を2ページ設けられている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「3・4年生」の最初の単元は挿絵を大きく、情報量を少なめにし、記入欄を広くとり、書きやすい工夫がされている。目次に、「5・6年生」の内容を紹介し、系統的な見通しを示している。「5・6年生」では、科学的な根拠を取り上げている。</li> </ul> </li> <li>② 内容の配列・構成などの工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字だけでは分かりにくい内容では、イラストを示して視覚支援をしている。</li> </ul> </li> <li>③ 分量や文字、記号の大きさ、見やすさ、造本などの工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な内容は太字で示して、学習のポイントを分かりやすく示している。</li> </ul> </li> </ul>						

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 体育 】種目【 保健 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	224	発行者の略称	学研			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
			305		505	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 児童の身近な生活との関わりから、健康・安全について学習内容をつかみ、活動を進めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の初めにある「つかむ」では、自分の生活を振り返り、次の「考える・調べる」につなげ、健康・安全について実践的に理解することができるように工夫されている。</li> </ul> <p>② 健康で安全な生活を実践することができる資質や能力を育成するための具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを生活や行動に活用できるように、記述式のまとめ欄を設けている。</li> </ul> <p>③ 写真・挿絵・図書等、児童の興味・関心・意欲等を喚起するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めに、登場する人物紹介を行い、物語性を加えている。そして、児童や教師のキャラクターがせりふで語りかける形式を用いて、親しみやすく興味・関心を持って学習に取り組むことができるように工夫されている。</li> <li>・「かがくの目」を随所に設け、科学的な認識が持てるようにしている。また、望ましい生活や行動の根拠が科学的に認識できるように、論理的文章と科学的な資料で構成している。</li> </ul> <p>④ 児童の実態に応じて、一人ひとりが自ら課題を持ち、その解決に向けて主体的に学習を進めていくための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達といっしょに学習する内容、教え合いや学び合う活動を随所に取り入れ、「友達と」マークでわかりやすく示している。これらにより、主体的・対話的かつ協働的に活動する学習活動が生まれやすくなっている。</li> <li>・各活動で学習課題を明示し、「つかむ」⇒「考える・調べる」⇒「まとめる・深める」という学習の流れをパターン化して、児童が自ら学べるように工夫されている。</li> </ul> <p>⑤ 今日の課題の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外出時の安全・自然災害・ネットトラブル」について取り上げている。また、安全を守るための警報の意味やミサイルに対応した国民保護情報も取り上げている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 発達段階に応じた系統的な構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年ではチェックや簡単な記述などの作業が多く設けられている。高学年では、話し合いや実習など、多様な方法で学習を進められるように工夫されている。また、高学年では、ウェブサイトの情報を掲載し、さらに探究した学習ができるように工夫されている。</li> </ul> <p>② 内容の配列・構成などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間見開き2ページを基本構成とし、見通しを持って学習できるように配慮されている。</li> </ul> <p>③ 分量や文字、記号の大きさ、見やすさ、造本などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書体や色（背景やイラスト）など、落ち着いた色遣いで、だれも見やすく分かりやすい内容となるように配慮されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2		発行者の略称	東書		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	101	201	301	401	501	601
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材のはじめに、主題名と生活とつなげるための問いが示されている。</li> <li>・目次の教材名に領域が分かりやすく色分けをされている。</li> <li>・巻頭には道徳の学習を進めるための学習手順が示されている。</li> </ul> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生以上では、道徳的価値をより多面的・多角的に学べるように「教材について」「自分自身について」の2つの視点から振り返る発問が示されている。</li> <li>・「出会う ふれ合う」では学習で学んだことを実践し、その気づきを友達と交流して考えを深めるように設定されている。</li> <li>・巻末には、学習の学びを感じることができるよう学期ごとの振り返りのページが設けられている。</li> </ul> <p>③ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値に対する問題意識を高めるため、第3学年以上で「問題を見つけて考える」のページを設けている。(高学年は2教材)</li> <li>・関連的な内容の教材が複数個連続して設定されている。</li> </ul> <p>④ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる教材が11題示されている。</li> <li>・現代的な課題として「情報モラル」に関わる教材は6題示されている。</li> <li>・現代的な課題として「いじめ」に関わる教材は12題示されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを生活につなげるために、教材の次のページに「つながる・広がる」が設定されている。</li> <li>・教材に関連したこと内容をインターネットで調べることができるように「Dマーク」が示されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の教材を関連付け、1つのまとまりとして学習できるように構成の工夫がされている。</li> <li>・巻末には、毎時間の振り返りを選択式で記入するようになっている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称			学図		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
	102・103	202・203	302・303	402・403	502・503	602・603	
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材ごとに、内容項目のマークと主題名が示されている。</li> <li>・中心発問と考えを深めるための設問が示されている。</li> <li>・巻末に「まなびのヒント」が示されている。</li> <li>・全学年、本文のみが掲載されている。</li> </ul> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道徳ノート」では、自分の考えや友達の考えを記録するところがあり、多面的・多角的に考えるように工夫されている。</li> </ul> <p>③ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊「まなび」編の「心のパレット」では「まなびのヒント」として、話合いや自我関与の仕方が示され、多様な学習方法や学習形態が考えられるような表記がされている。</li> <li>・巻頭に「学級づくり」のページがあり、ゲームで友達とかかわり、言語活動を促すようになっている。</li> </ul> <p>④ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な課題として「情報モラル」に関わる教材は9題示されている。</li> <li>・現代的な課題として「いじめ」に関わる教材は33題示されている。</li> <li>・国際理解、国際親善に関わる教材は、8題示されている。</li> <li>・我が国の伝統・文化・郷土愛についての教材が、8題示されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなび」編の巻末には、全学年保護者に対して4領域ごとの説明が書かれている。</li> <li>・「みつめよう」では、教材から学んだことを自分の経験や実態と照らし合わせ、具体的な行動が考えられるような問いが示されている。</li> <li>・「まなび」のコラムには、先人や伝統等に関する情報や教材に関連した図書の紹介が掲載されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊「かがやけ みらい」は、内容項目ごとに2ページで構成されている。</li> </ul>						

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	104	204	304	404	504	604
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連した内容のまとまりで教材を配列し、主題名、教材名の初めに、問いや考えたいことが示されている。</li> <li>・目次の教材名に領域が分かりやすく色分けをされている。</li> </ul> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末の「考えよう」では、登場人物の心情から道徳的価値について多様な考えを知り、自らの考えが深まるような活動が示されている。</li> </ul> <p>③ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出しへの書き込みや役割演技による体験を通して道徳的行為について考えを深める「スキル」が掲載されている。</li> </ul> <p>④ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な課題として「情報モラル」に関わる教材は11題示されている。</li> <li>・現代的な課題として「いじめ」に関わる教材は24題示されている。</li> <li>・防災教育に関する教材は2題示されている。</li> <li>・我が国の伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる教材が19題示されている。</li> <li>・国際理解、国際親善に関わる教材が8題示されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「いちばん大切なもの」を問うページがある。</li> <li>・巻末に1年間の学習の振り返りを記入するページがある。</li> <li>・「深めよう」では、自らの経験を振り返りながら、教材から学んだ道徳的価値を自分の言葉でまとめる活動が示されている。</li> <li>・「つなげよう」では、日常の実践場面における具体的な行動を考えることができるような学習が設けられている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全35教材（1年は34教材）で付録教材が設けられている。</li> <li>・複数の教材を関連付け、1つのまとまりとして学習できるようにし、学習後に考えたことを記入する欄が設けられている。</li> <li>・他教材との関連の一覧が示されている。</li> <li>・「いのち」を重点的なテーマとして、各学年に関連付けている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	105	205	305	405	505	605

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材のはじめに、主題名、考えたいことや問いが示されている。</li> </ul> <p>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末の「考えよう 話し合おう」では、学習のめあてや問いが示されている。</li> <li>・道徳的価値を多面的・多角的に学べるように教材と関連づけた内容や活動を例示した「コラム」が第1・2学年で各2題、第3学年以上は各5題示されている。</li> <li>・教材末の「考えよう、話し合おう」では、学びのめあてを明記し、主題について考えを深める問いや、発展的に考える問いが示されている。</li> </ul> <p>③ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な学習を通して実感をもって考えを深めるように「演じて考えよう」のページを設けている。</li> <li>・巻頭には道徳の時間について「話し合う」「演じる」「読む」「書く」の考える活動とその意義が示されている。</li> <li>・「気持ちを表す言葉」「くわしく伝え合うとき」等発達段階に応じた言語活動に必要なスキルが提示されている。</li> </ul> <p>④ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な課題として「情報モラル」に関わる教材は6題示されている。</li> <li>・現代的な課題として「いじめ」に関わる教材は28題示されている。</li> <li>・現代的な課題として防災教育に関する教材は2題示されている。</li> <li>・現代的な課題として消費者教育に関する教材は5題示されている。</li> <li>・現代的な課題として法教育に関する教材は高学年で7題示されている。</li> <li>・我が国の伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わる教材が7題示されている。</li> <li>・国際理解、国際親善に関わる教材が7題示されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末に「つなげよう」として、学んだことを生活につなげる問いが示されている。</li> <li>・学習の助けとなる資料（QRコード）がある教材も掲載されている。</li> <li>・教材末に第2学年より「つなげる」を設け、他教科や生活に関連して考えることができるようキャラクターの問いかけや関連書籍の紹介がされている。</li> <li>・巻末に、各学年の「目ざした姿」が示された項目別教材一覧表が記載されている。</li> <li>・保護者に向けて、「この教科書を使って語り合う」ように記述されている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の教材を関連付け、1つのまとまりとして学習できるように工夫がされている。</li> <li>・道徳の時間に学んだことを記入することのできる「学びの記録」が、学期ごとにまとめて入っている。低学年では選択式、高学年では記述式となっている。</li> <li>・巻末の「心を通わそう」では、人間関係を築くための能力を培えるような取り組みがされている。</li> <li>・第3年以上の巻末に日本文化について書かれたページがある。</li> </ul>
----------------------------	---

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

## 教科【特別の教科】種目【道徳】

### 1 研究委員氏名



### 2 報告

発行者の番号	116		発行者の略称	日文		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	106・107	206・207	306・307	406・407	506・507	606・607
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材ごとに主題名，その下に考えたいことや問いが示されている。</li> <li>・巻末の付録では，全学年発達段階に応じた重点項目についての教材が掲載されている。</li> </ul> <p>② 自分の経験やのそのときの考え方，感じ方と照らし合わせながら，物事を多面的・多角的に考えることができる教材の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材前に問題意識をもたせるの主題についての問いがあり，教材末の「考えよう」では，中心人物と自分を重ねて考える問いが示されている。</li> <li>・全学年で「情報モラル」「人との関わり」「安全なくらし」を教材にした教材が取り上げられている。</li> <li>・道徳的価値をより多角的・多面的に学べるように教材と関連づけた内容や活動を例示した「心のベンチ」が全学年に設けられている。</li> </ul> <p>③ 「言語活動」，「問題解決的学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や活動形態等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な学習や体験的な学習の手法を用いるのに適した教材末には，「学習の手引き」がついてあり，学習の展開例が示されている。</li> </ul> <p>④ 身近な地域や我が国の伝統，文化，人物等に係る題材やグローバル化が進展する国際社会に関わる題材，情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な学習の課題として，防災教育に関わる教材が8題，示されている。</li> <li>・現代的な学習の課題として，いじめに関わる教材が45題，示されている。</li> <li>・現代的な学習の課題として，情報モラルに関わる教材が11題，示されている。</li> <li>・我が国の伝統文化の尊重，国や郷土を愛する態度に関わる教材が12題示されている。</li> <li>・国際理解，国際親善に関わる教材が8題示されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の興味，関心，意欲を高め，自主的，自発的に学習したり，道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の絵が提示されており，内容が理解しやすくなるように掲載されている。</li> <li>・別冊「道徳ノート」には，1単元ごとに児童が自己評価するようになっている。</li> <li>・「見つめよう，生かそう」では，学んだことをもとに自分の生活を振り返り，これからの自分を考えるような問いが示されている。</li> </ul> <p>(2) 内容の構成・配列，全体の分量及び配分や表記，その他使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊「道徳ノート」は，教科書の教材ごとに1ページで構成されている。</li> <li>・別冊「道徳ノート」には，中心発問が掲載され，それについて低学年はマス目，中学年以上は罫線で記入できるようになっている。</li> <li>・別冊「道徳ノート」には，自分の考えを書く欄と自由に使える欄が設けられている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	208	発行者の略称			光文	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	108	208	308	408	508	608

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 道徳的価値の理解を図るための発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材名の前に、主題名と教材を通して考えたいことや問いが示されている。</li> <li>道徳の時間についての解説が設けられ、流れや活動内容について説明している。さらに、道徳時間から広げる場面についての説明もなされている。</li> <li>教材名の下欄に登場人物の紹介がある。</li> </ul> <p>② 自分の経験やその時の考え、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的多角的に考えることができる教材の内容の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材末には、「まとめる」「広げる」発問が提示されている。</li> </ul> <p>③ 「言語活動」「問題解決的学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や活動形態等の工夫の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えるためのポイントや大切な見方が、キャラクターを通して提示され多様な学習方法や活動形態ができるようになっている。</li> <li>「ことばの宝物」では、名言や格言を教材と関連付けて示されている。</li> <li>全学年「みんなでやってみよう」では、人間関係づくりのための体験的な活動が示されている。</li> <li>各学年において、特に価値理解を深めていきたいものについては、重点主題教材として同じ内容項目の教材が連続して配置されている。</li> </ul> <p>④ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に関わる題材やグローバル化が進展する国際社会に関わる題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルに関する教材が、第1～4学年各1編、5・6学年は各2編提示されている。</li> <li>国際理解、国際親善に関わる教材が、第1学年2編、他学年1編提示されている。</li> <li>我が国の伝統・文化・郷土愛についての教材が、第1・2・4学年2編、3学年3編、6学年4編提示されている。</li> <li>現代的な課題として「いじめ」に関わる教材は43題示されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の興味関心、意欲を高め、自主的、自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材とつなげて考えを深めたり広げたりするコラムが設けられている。</li> <li>道徳ノートの作り方が、写真と解説で具体的に示されている。（板書・分かったこと・気付いたこと・感想・これからの生活に生かしたいこと）</li> <li>巻末には授業の記録を残すための「学びの足あと」（心の矢印・ひとこと）が表で設けられている。</li> </ul>
	<p>(2) 内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、その他使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材35編（1学年34編）以外に「付録」の教材が5編ずつ掲載されている。</li> <li>目次では、内容項目の領域ごとに番号が色分けされている。</li> <li>最後のページには内容項目別教材一覧表が記載されている。</li> <li>教材の文章の下欄に語句の解説がされている。</li> </ul>

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	224	発行者の略称			学研	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	109	209	309	409	509	609
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材のはじめに、内容項目別のマークが示されている。</li> </ul> </li> <li>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末の「考えよう」では、主題について考えを深める問いや、発展的に考える問いが示されている。</li> </ul> </li> <li>③ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭には道徳の時間について自分を見つめ深めるポイントが示されている。</li> <li>・「話をもとに考える」「話し合いを高め合おう」「自分を見つめ深めよう」の活動とその意義が示されている。</li> <li>・「やってみよう」では、体験的な学習が提示されている。</li> </ul> </li> <li>④ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命尊重」を最重点テーマとし、それにかかわる教材は18題示されている。</li> <li>・現代的な課題として「情報モラル」に関わる教材は、7題示されている。</li> <li>・国際理解、国際親善に関わる教材は、7題示されている。</li> <li>・我が国の伝統・文化・郷土愛についての教材が、7題示されている。</li> </ul> </li> <li>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の次のページには、「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」と学習後に学びを生かしたり、深めたりするように設けられている。特に「広げよう」では、家庭で保護者に聞いたり、自分で調べたりするような例示がある。</li> <li>・巻頭の「マイプロフィール」では、記入し1年前の自分と比較するページがあり、巻末には学びの足あととして「心の宝箱」で成長を振り返るページが設けられている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の教材を関連付け、1つのまとまりとして学習できるように構成されている。</li> <li>・A4判サイズで視覚的に見やすいようになっている。</li> <li>・「いのち」と「生き方」を各学年のテーマとし、2つの教材を1つのまとまりとして学習できるようにし、学習後自分の考えを記入する欄が設定されている。</li> <li>・どの教材も2, 4, 6ページで構成されている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 特別の教科 】種目【 道徳 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	232		発行者の略称	廣あかつき		
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	110・111	210・211	310・311	410・411	510・511	610・611
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 道徳的価値の理解を図るための、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ内容項目の教材が、2学年ごとに同一の主題で設定され、教材名の横に副題も示されている。</li> </ul> </li> <li>② 自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、物事を多面的・多角的に考えることのできる教材の内容の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末の「考えよう 話し合おう」では、1・2学年は教材に自我に関与する問いと自己の振り返りをする問いが示されている。</li> <li>・第3学年以上では、「学習の道すじ」で学びのめあてを明記し、教材に自我関与する発問、主題について考えを深める発問、「学習を広げる」で発展的に考える問いかけが示されている。</li> <li>・「学習の道すじ」では、道徳的価値について理解していくねらいが示されている。</li> </ul> </li> <li>③ 「言語活動」、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」等の多様な学習方法や学習形態等の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末に登場人物に自我関与して考えを深める発問が示され、別冊ノートで多様な学習方法が示されている。</li> <li>・「道徳ノート」は、内容項目ごとに作成され、継続的に考えを深めていくことができるようになっている。</li> </ul> </li> <li>④ 身近な地域やわが国の伝統、文化、人物等に係る題材、情報モラル等現代的な課題に関わる題材の取り上げ方の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化を尊重する教材として、全11題示されている。</li> <li>・国際理解、国際親善に関わる教材が、各学年1題示されている。</li> <li>・人物等に関する教材は、全33題示されている。</li> <li>・メディアで取り上げられている人材を多く扱っている。</li> </ul> </li> <li>⑤ 児童の興味、関心、意欲を高め、自主的・自発的に学習したり、道徳科の時間以外に家庭等で活用したりできるような教材や学習活動の工夫             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「道徳ノート」の最後には、「心のしおり」として教師や保護者に見てもらうページが設けられている。</li> <li>・「道徳ノート」では話し合い活動の記録のページや体験活動の記録のページが設けられている。</li> <li>・第3学年以上では、教材に関連した話がある。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の下段には領域別の色別マークのほかに別冊ノートとリンクできるようページ数が示されている。</li> <li>・第3～6学年には、全35教材に加えて3つの付録教材が掲載されている。</li> <li>・「道徳ノート」は学習の記録ができる部分がある。さらに、体験活動の記録をするページもある。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	2	発行者の略称	東書			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					501	601

観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの練習が書き順付きで練習できるようになっている。</li> <li>・英語の文と一緒にその意味を表す絵や、ポイントになる単語に色マーカーがついており、理解を促す工夫がされている。</li> <li>・レッスンの最初は多くの児童にとって理解しやすい、聞く（リスニング）活動から入り、話す（やりとり）、書く、話す（発表）の順で展開されている。</li> </ul> <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや絵を使ってより分かりやすく活動できる工夫がされている。</li> <li>・レッスンごとにSmall Talkが分かりやすく提案されている。</li> </ul> <p>③ 実生活への活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分のこと」「地域のこと」「日本のこと」という3ステップで様々なバリエーションを使って英語に触れる機会が提供されている。</li> </ul> <p>④ 日本や外国の伝統文化への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンごとに'Over the Horizon'という世界の国々の情報を考えるページが載っており、日本との類似点や相違点を学ぶことができる。（名前、行事、学校生活、職業など）さらに、日本に住んでいる外国人にインタビューをしているページがあり、客観的に日本について学ぶ工夫がされている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンごとにコラムが載っており、英語と日本語の違いなどが分かりやすく載っている。</li> <li>・レッスンごとにバーコードリーダーが載っており、自主学習ができる。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量使用上の便宜など</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンごとのパターンがはっきりしており、分かりやすく取り組みやすい。</li> <li>・身近な写真やイラストが多く使われており、児童が実生活と英語を結び付けやすくなっている。</li> </ul> <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の最後にローマ字表やアルファベット練習表、アクセント表など、児童の理解を深める工夫がされている。</li> </ul>
----------------------------	--

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【 外国語 】種目【 英語 】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	9	発行者の略称			開隆堂	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					503	603
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書後半に「文字に慣れよう」のコーナーがあり、音と文字の関係やアルファベットの書き方が段階的に学べるよう工夫されている。</li> <li>単元の導入から繰り返しターゲットの表現が練習できるようになっており、出口のアウトプット活動が無理なく行えるように考えられている。</li> </ul> <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元にペアやグループで行う活動が多く取り入れられている。</li> <li>Projectという活動が年に2回設けられており、学習したことを使って児童が主体的・協働的に英語を用いることができるようになっている。</li> </ul> <p>③ 実生活への活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>題材が児童の学校生活カレンダーに合っており、実生活とのつながりが感じられるようにしている。</li> </ul> <p>④ 日本や外国の伝統文化への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年生では身近な社会との関わりをテーマとし自国と郷土の尊重を、6年生では世界とのつながりや国際社会の一員であるという意識を育てる流れにしており、児童の世界が少しずつ広がっていく工夫をしている。</li> <li>動画を見せることにより、世界とのつながりや日本との違いを児童に気づかせるようにしている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>QRコードや辞書のページがあり、児童の自発的な学習を助ける工夫がなされている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み・書きの指導が5年から6年にかけて段階的になっている。</li> </ul> <p>② 指導上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他教科のマークがもくじ欄と各ページに一目でわかるように示されており、指導者・児童が他教科とのつながりを意識できるようにしている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	11	発行者の略称			学図	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					504	604
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットや英文のなぞり書きができるようになっている。</li> <li>・レッスンごとにアルファベットコーナーがあり、大文字と小文字の復習が随時できるようになっている。</li> </ul> <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活に近いシチュエーションが設定されている。</li> <li>・最終的に自分のことを少し長めの文で伝えることができる順序立てがされている。(聞く→読む→書く→話す(やりとり)→話す(発表))</li> <li>・様々な例が絵とともに示されており、児童が自分の文を考えやすい工夫がされている。</li> </ul> <p>③ 実生活への活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンごとの最初のページに児童が感情移入しやすいシーンの絵が大きく提示され、実生活と英語の交わりを理解することができる。(教室、家、海、スーパー、誕生日会など)</li> </ul> <p>④ 日本や外国の伝統文化への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンごとのリスニングで、日本や外国の伝統文化や特色を表すシーンがある。(竹馬、お祭り、七夕、折り紙、偉人、レストランなど)</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンごとにコラムが載っており、英語と日本語の違いなどが分かりやすく載っている。</li> <li>・レッスンごとにバーコードリーダーが載っており、自主学習ができる。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量使用上の便宜など</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストと文字のバランスが整っている。</li> <li>・レッスンごとのパターン(15分刻みのレッスンプランがある)がはっきりとしており、分かりやすく取り組みやすい。</li> </ul> <p>② 使用上の便宜などの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の最後にワードリストがあり、これまで習ってきた単語を一覧で確認できる。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	15	発行者の略称			三省堂	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					505	605
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各Lessonのパノラマで表現や語彙に出会い、その後、技能統合型活動でそれらを使い基礎基本の習得を図ることができるような構成になっている。</li> <li>学習した主な表現が1ページにまとまって掲載されていたり、ローマ字表やアルファベット表が付いていたりして、既習内容をいつでも振り返ることができる。</li> </ul> <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Lesson」で繰り返し扱った表現や語彙を、場面や目的がより明確に示されている「Presentation」で思考力を働かせながら活用するという構成になっている。また、「Presentation」はJUMP1とJUMP2の2つの活動が設定され、一度活動した後に修正して再度伝え合うことができるようにすることで、児童が達成感を得られるようになっている。</li> </ul> <p>③ 実生活での活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介や学校紹介、おすすめの場所や物事の紹介等、児童にとって身近な題材を扱い、実生活ですぐに活用できるような工夫がなされている。</li> </ul> <p>④ 日本や外国の伝統文化への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の言語や学校、外来語についてのコラムやクイズが掲載されている。</li> <li>児童になじみのある世界の物語が、各教科書3作ずつ掲載されている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「パノラマ」や「Words&amp;Phrases」にQRコードがあり、デジタル機器等で読み取ると単語の音声を聞くことができ、家庭で復習することもできる。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2学年で合計6つの大きな言語活動(大単元)を設定し、各大単元が①Get Ready(HOP)、②Lesson(STEP)、③Presentation(JUMP)の3段構成となっており、教師・児童にとってゴールの活動への見通しがもちやすい。</li> </ul> <p>② 使用上の便宜等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科書の巻末に、ローマ字表、アルファベット表、アルファベットカード(大文字・小文字)、時差時計キット、言語活動用カードが付いている。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	17	発行者の略称			教出	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					506	606
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の終わりにはアルファベットの練習ができるページが設けられ、最初はなぞり書き、次第に4線のみとステップアップしている。</li> </ul> <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童に馴染みのある読み物教材が挿絵とともにあり、内容が想像しやすく、読むことへの抵抗感を和らげている。</li> </ul> <p>③ 実生活への活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態に合った内容や実生活を想定した場面が設定されている。</li> </ul> <p>④ 日本や外国の伝統文化への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本食や日本各地の有名な場所や建造物、また外国の食べ物や国旗、建造物などの絵や写真が多数盛り込まれている。</li> <li>単元の内容に合った外国の様子が紹介されているページが設けられ、各国の伝統文化を知る機会となっている。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童にとって馴染みのある人物やキャラクターが取り扱われている。</li> <li>単元の内容に合ったワークシートが用意され、手本を見ながら学習した語彙や表現を使い、自分の思いを表現することができる。</li> <li>単元の終わりには学習を振り返る欄があり、児童自ら学習したことを達成できているか確認することができる。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の最初は映像を見たり、聞いたりする活動が用意され、次第に自分の思いや考えを話したり、書いたりする活動になるよう構成されている。</li> </ul> <p>② 使用上の便宜等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>字体が統一されているため、児童の混乱を防ぐことができる。</li> <li>巻末には切り取り可能な絵カードがあり、どの単元で使用するかも書かれているため、分かりやすい。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	38	発行者の略称	光村			
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					507	607
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容や特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書巻頭のLet's startでは、前学年までの内容で大切なことが記載されており既習内容を確認することができるようになっている。</li> <li>・Alphabet Timeでは、大文字や小文字の読み書きが定着するように5年生で全3か所設定されている。</li> </ul> <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全単元のResponseコーナーでは、相槌や聞き返す表現などを繰り返し示し相手意識が育つように工夫されている。</li> <li>・見開きページの最後に、その時間で学習した語を使って文を書く場がある。</li> </ul> <p>③ 実生活への活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の始めには実生活の状況場面に沿ったイラストが描かれており、実生活のどのような場面で活用する学習なのか見通しをもつことができる。</li> </ul> <p>④ 日本や外国の伝統・文化への理解を深めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元にWorld Tourがあり、世界12か国に住む小学生の生の声にふれ、それぞれの国の生活の様子や文化を知ることができる。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎単元末にFun Timeがあり、クイズや歌など楽しんで英語に触れられる場面が設定されている。</li> <li>・映像資料があることで、学習意欲を高めることができる。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に各学年でできるようになること(CAN-DO)があり、見通しをもって学習に臨むことができる。</li> <li>・単元ごとの目標が明記されているので、単元で学ぶ内容が一目で分かる。</li> <li>・単元構成が明記されているので、単元の学習内容の見通しをもちやすい。</li> </ul> <p>② 使用上の便宜等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に絵辞典がある。</li> </ul>					

# 令和2年度使用小学校教科書研究報告書

教科【外国語】種目【英語】

## 1 研究委員氏名



## 2 報告

発行者の番号	61	発行者の略称			啓林館	
学年別の教科書番号	1年	2年	3年	4年	5年	6年
					508	608
観 点 別 の 特 徴	<p>(1) 内容の特徴・表現</p> <p>① 基礎・基本の定着を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット読み書きの練習では、QRコードで書き順や発音の動画を見ることができ、4線には書き始めの始点が示されている。</li> <li>・学習の振り返りページがあり、チェックマークをつけたり本時の感想を自分の言葉で書いたりすることができる。</li> </ul> <p>② 充実した言語活動にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞くことの活動では、文中や単語においてアクセントをつけるところに赤いマークがついている。</li> <li>・QRコードを読み取ると、Unitで使う単語や表現を聞くことができる。</li> <li>・話すこと[やり取り]の活動では、事前に話す内容を書いたりWord Listの単語から選んだりすることができるようになっている。</li> <li>・場所や頻度を表す単語には、絵や図での補足説明が加えられ、英語で表現されるときの微妙なニュアンスを掴みやすくなっている。</li> </ul> <p>③ 実生活への活用の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りのページでは、「学習した英語をどんな場面で使いたいかな」を書くことができる。</li> </ul> <p>④ 日本や外国への伝統・文化への理解を深める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Did you know?のコーナーでは、外国の文化や習慣などを写真と文で紹介している。</li> </ul> <p>⑤ 児童の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しがあり、学習のポイントやアドバイスをしている。</li> </ul> <p>(2) 構成・配列及び分量、使用上の便宜等</p> <p>① 構成・配列及び分量の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元10ページ(part1～part3)で、8単元とReview3で構成される。</li> </ul> <p>② 使用上の便宜等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Word List, アルファベット表, Can-Do List (チェック欄付き), 絵カードの付録がある。</li> </ul>					